新京日日新聞
夕刊
十一月五日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三三二五 營業部專用三三二〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇男
印刷人 水越內之介

けふ觀菊會

光榮の臣僚八千

【東京國通】恒例の宮中觀菊會は五日午後秋色一入濃く菊花を競ふ新宿御苑で　天皇陛下の行幸を仰ぎ内外の臣僚約八千を召され盛大に催された、この日高松宮同妃兩殿下を始め各皇族方、各國大公使及び夫人令孃、岡田首相以下各國務大臣、文武顯官、特に御召の滯京外人並に特に選ばれた光榮の教育事業、社會事業關係の功勞者等何れもフロックコート又はモーニングにシルクハットで禮裝の夫人同伴正午頃より自動車を連ね相前後して午後一時半までに御苑に參入　兩陛下の御着を御待ち申し上げる中に　天皇陛下には御通常禮裝を召され鈴木侍從長御陪乘湯淺宮相以下供奉申し上げ略式自動車鹵簿にて午後二時宮城御出門御召者一同奉拜の中を御苑内の日本館に着御各皇族方と御對面、御少憩の後御苑に玉歩を進めさせられ、賜謁所に於て外交團及び岡田首相以下親任官等に賜謁、それより一同を從へさせられ、紅葉深みゆく池畔から朝天亭、樂羽亭の附近に配された九つの花壇を御巡覽、國華の名にふさはしい清楚な美、清純典雅な香りを誇る中菊、篠作りの懸崖、嵯峨、肥後一文字から大作りでは晴夜の星、延喜樂、みちのく山等の名花等を順次御觀賞を假御茶屋に入らせられ、陸海軍々樂隊奏樂裡に群臣にも茶菓を賜ひつゝ歡を共にせられ午後三時四十分頃諸員奉送中を御苑御發御機嫌麗はしく宮城に還御あらせられた、尚御召者一同は午後五時頃隨意御苑を拜觀する

諸員奉拜中

我權益を侵害せば絶對に默視し能はず

有吉大使、孔祥熙氏を訪問所信披瀝

支那、日本の協力希望

【上海五日發國通】有吉大使は四日午前十一時半佛租界の私邸に孔祥熙氏を訪問、幣制改革案斷行に關し日本側の意思表示をなすところあつた、席上有吉大使より

今回の幣制改革に依つて萬一日本の權益に事あらば斷然これを默視し得ず、日本は今後の成行に充分關心を拂つてゐる

と述べ、中國側の善處を要望した、孔氏は

逼迫せる金融危機打開のため早急に斷行したもので日本側の協力を希望する

旨述べ會談三十分にして辭去した

支那の幣制改革

支那の對英借款は自力更生を阻む

英、支の態度を監視

【東京國通】支那の銀國有問題に關し四日午後開催された外務、大藏聯合協議會に重光次官は左の如く帝國政府の對策骨子に就き説明强調したと確聞する

一、南京政府の銀國有制度が傳へられる如く英支間借款を條件として斷行されたものとすれば單獨對支借款拒否を言明し來つたイギリス政府は銀國有制度の實施により惹起する事あるべき財政の混亂引いては支那政局の動搖に對し一半の責任を取るべきものと思ふが帝國政府は東亞の安定維持の根本態度より嚴に英國政府の態度を監視する必要がある

一、南京政府は一面日支親善提携の要を説きながら他面口を拭つて英國と手を握り帝國政府の企圖する支那の自力更生策を一蹴し去つた南京政府の外交政策は此點に於て親日か親英かの岐路に立つものと見る事が出來る、蔣介石氏が今や宋子文孔祥熙兩氏等の策動を容認して英國と提携し帝國の對支根本政策の一重要綱目たる自力更生の要求を事實に於て拒否し來つたことは如何なる結果を招來するものであるか帝國政府は最大の關心を以て蔣介石、宋子文孔祥熙氏等の今後の態度を監視するといふにあり

南京政府の銀國有制度の實施を機會に表面化した南京政府の對日態度及び英國政府の對支經濟政策に關し帝國政府は最大關心を示しつゝ之を警戒すべしとする旨を强調した

銀を法定紙幣と兌換

外銀側に要請

【上海五日發國通】中央銀行は四日各外商銀行に對し幣制統一の前提として銀の國有化の徹底を期すべく現銀を中央、中國、交通の三政府銀行發行の法定紙幣と兌換せられたき旨要請し來つたが、右要請に接した日本側銀行は取急ぎ回答を爲すべき必要を認めない爲何れもこれを單に受領するに止め追つて日本政府に請訓後何分の態度を決することとなつたが、滙豐銀行を始め英商銀行は通告に隨つて銀の引渡しを行ふ模樣で若し之が實行されれば一般外商銀行間に相當の問題が惹起されるものと觀られる

幣制改革を英政府が援助

銀支拂禁止令を布告

【上海五日發國通】今回の幣制改革はイギリスの絶大なる援助の下に斷行されたものである事は一般から想像されて居たが果せるかなイギリス上海總領事館は勅令としてカドガン大使の名により支那の幣制改革を全面的に支持すべき意味の銀支拂禁止令を四日公布した、同令の内容は支那在留イギリス人、イギリス系商店會社は單獨又は他のものと協力して債務の一部又は全部を銀を以て支拂ふ時は三ケ月以内の禁錮又は懲役、五十磅以内の罰金に處す

とあり、此勅令が支那政府の幣制改革發表と同日これと前後して公表され、しかもこれを全面的に支持する旨を明示した事は明かに今度の改革がロンドン政府と南京政府との間に十分なる諒解と協約があつたことを實證するものである

緊張を示した

上海バンドの銀行街

【上海五日發國通】中國通貨史上未曾有の大變革が敢行された四日當地銀行街九江路バンド一帶は苦り切つた各國人が血眼になつて慌しく内外各銀行の門を出入してゐる、殊に國家銀行たる中央銀行の周圍は多數の工部局巡警、請願巡査によつて嚴重に警戒され緊張した空氣の中を拔身のピストルを握つた用心棒に護られた財界の要人連がしきりに往來する等火事場のやうな大混雜を呈してゐた

滿洲國の通貨統一

日本銀行筋援助

四日の金融懇談會で

【東京國通】日銀主催の金融懇談會は四日午後開催、深井總裁より最近の金融情勢に關し説明報告あり種々懇談を遂げたが右散會後引續き滿洲國通貨統一に關して大藏省との間に懇談會を開催、大藏省側より同日の閣議に於て決定を觀た滿洲國幣制の統一に關する内容に就き詳細説明あり近く施行の同國爲替管理の大綱即ち

一、投機取引の禁止
一、外國貨幣の流通制限
一、地金銀の兌換準備保有

等の點に就き同國金融界に關係深き朝鮮銀行、正金の協力を要望したに對し日銀始め三爲替銀行は獨自の立場より極力援助を爲す旨諒解を與へた

袁良氏南京へ

【北平四日發國通】市政府の事務引繼ぎは四日は午前中市政府に於て袁良、宋哲元兩氏間に行はれた、之が終ると早くも袁良氏は家族家財を纏めて午後三時半發津浦線で南京に向つた

不脅威不侵略の既定方針に邁進

永野首席全權抱負を語る

【東京國通】軍縮會議の帝國首席全權の重大使命を托された海軍大將永野修身氏は自邸に於て左の如く抱負を語つた

我帝國政府の海軍々縮會議に對する不脅威不侵略の一大鐵則は既に我國民の間には常識とさへなつてゐる、從つて今更此點をくどくど繰り返へす必要はないだらう、自分は永井全權とも熟知の間柄だから密接な連絡を取つて政府の訓令を忠實に履行し、眞の重大使命を恥しめない樣努力する心算だ今の處大體本月の五六日頃東京を出發シベリア經由で會議地ロンドンに急行する豫定だが十二月一日迄には到着するだらう、ロンドンに着いてからも四、五日は種々準備の都合があるから二日の開會までに間に合ふかどうか判らぬが當方の豫定だけは英國政府へ通告して置き度いと考へてゐる

我軍縮代表

十六日東京出發に決す

【東京國通】我軍縮全權代表は四日全權委員の決定をみたので更に一兩日中に隨員の顔觸れを決定し訓令案に基き當局との間に充分の打合せを行つた上で十六日東京驛發シベリア經由でロンドンに向ふこととなつたロンドン着は十二月一日の豫定である

日滿經濟委員會

來る十二日關東軍にて開催

過般第一回委員會を開催議事規則其他を決定した日滿共同經濟委員會は第二回委員會を來る十二日關東軍に於て開會することに決定、この旨各委員に通牒を發した

山菅氏歸滿

北滿特地檢察官

【大連國通】日本の司法行政視察の爲赴日中の北滿特別地方檢察廳檢察官山菅正誠氏は四日朝入港のうらる丸で歸滿した

張總理一行出發

國内の治安確立に折柄迫る寒冷を目し晝夜を分たず轉戰また轉戰到る處劃期的成果を收めつゝある全滿各地の日滿軍警其他の機關に對し政府當局は豫て國民總意の感謝の念を傳へる爲張總理一行は滿洲國大官に見送られ本五日午前七時二十分發列車にて出發した（寫眞は展望車にて、見送りの右より長岡總務廳長、慰問使張總理、見送りの丁實業部大臣）

休戰記念日に

日英米等記念交驩放送

【東京國通】十一月十一日の休戰記念日を期し例年の如く米國カーネジ平和財團主催の國際交驩放送が行はれ英、米、佛、アルゼンチン、日本の五ケ國代表者が夫々國際平和の促進に就て熱辯を振ふが我國からは若槻禮次郎男が出馬してフランス語演説を行ふこととなつた、此の放送は米國コロンビア會社を通じて我國にも中繼されるがそのプログラムは日本時間午前四時五十五分、アメリカのバートラー氏、フランスのフランダン前首相、アルゼンチンのラマス外相の挨拶があり、五時半から若槻男の挨拶、英國のラバート、セシル氏を最後に六時終了の豫定である

朝鮮を三分赤化計畫

確聞するところに依れば吳夏默を師團長とする極東特別赤軍直屬の朝鮮人師團がニコリスク、ガスパウスク、ウスリーに駐在してゐる事が判明した、之は約九千の兵及び飛行機六台、戰車廿を有し、朝鮮を南鮮より太田、太田より京城及び京城以北の三軍管區に分け朝鮮の赤化獨立を計畫し司令部附將校はレーニン共産大學同勤務員は赤色學士院卒業生に限つてゐる

松岡總裁來京

松岡滿鐵總裁は明六日來京するが時間未定、なほ十日頃まで滯在の豫定である

宮澤部長ら來京

宮澤滿鐵地方部長は五日午前八時五十分、荒木同學務課長は同日午前七時着いづれも來京した

その日く

□

支那、幣制統一で遂に面從腹背の馬脚を現す、一つ英國と組んで見るのも面白からう

□

國幣への統一に關東軍先づ衆に先んず、獨立滿洲國のため一日も早く

□

エンヂンが凍つてバスが動かなかつたなど、新京らしくもないじやないですか

□

刑事と稱する男に宜しくやられた女があつた、この女ほんもの刑事を侮辱しちよるぞ

□

正月の前觸れ、門松、年賀狀の注文取り街に動く、チト氣が早いやうだが、商賣々々

人事往來

▲小坂隆雄氏（關東局衛生課長）四日午前發ハルビンへ
▲鹽原時三郎氏（國務院人事處長）同日午後歸京
▲土屋於熊氏（鐵嶺警察署長）同來京
▲土肥原少將（奉天特務機關長）同奉天へ
▲依田四郎氏（蒙政部次長）五日午前發ハルビンへ
▲羅振玉氏（監察院長）同大連へ
▲手木博氏（ハルビンセメント會社員）同名古屋ホテル
▲岡郡平太氏（山海關特務機關）同
▲木谷吉彌氏（ハルビン自動車業）同
▲宮本源太郎氏（奉天松本電氣會社員）同
▲湖松茂吉氏（鹿島組）同
▲清水京太郎氏（同）同
▲木下壽男氏（伊通縣公署）同
▲鴻池仙市氏（熊本松田工業會社員）同
▲中谷武世氏（法政大學教授）同
▲石本惠吉氏（間島鑛山業）同
▲江崎重吉氏（滿鐵社員）四日午後來京ヤマトホテル
▲古山勝夫氏（同）同
▲藤原喜藏氏（京都會社員）同
▲大西吉治氏（大連會社員）同
▲北川利一氏（大阪鈴木商會員）同
▲渡邊正太郎氏（吉林鐵路局）同
▲牧野豐助氏（大連會社員）同
▲平野馨氏（奉天官吏）同
▲淺田龜吉氏（鑛業）四日午後來京國都ホテル
▲竹中生道氏（啓原工業株式會社）同
▲竹中錢三氏（滿洲炭坑會社）同
▲松岡健一氏（會社員）同
▲齋藤太郎次氏（大連稅關吏）同
▲岡田三九生氏（同）同
▲小口好治氏（ポリドール會社員）同
▲川島重一氏（製紙會社員）同

エンジンが動かず バス君大不機嫌

定時發車が出來ず乘客大迷惑 原因は設備の不完全

けさ零下十度に近い極寒の寒空に風除け一つない交通會社バス停留所には官吏、會社員生徒やいたいけな尋常一、二年の小兒までが

普通なら七時三十分乃至七時四十分には始發車が來るはずなのが今朝は四十分も寒風にさらされてもバスは一向に見えず、衛戍病院前發新京驛ゆき四號線は七時四十分が八時四十五分漸く出で、同病院前發南廣場ゆき八號線も七時三十分發が八時三十分になつて漸く發車するなど停留場毎に通勤者が二、三十名づゝ甚しいのは百名近くも立ちん棒、遂に遲刻したものさへあつた、これは交通會社の

車庫不完全のため前日以來の寒さで四、五十台のバスは殆んどエンジンが氷結して定時運轉が出來なかつたためである

申し譯ない 交通會社平に陳謝

右に就いて交通會社では語る

誠に今朝は多くのお客さまに多大の迷惑を掛けまして何とも申譯御座いません、何しろ車庫は本社の方と市公署の兩方にありますが本社の車庫は目下增築中で屋外に車を置き、市公署の方も車庫にスチームが通つてゐないため不意に酷寒に襲はれて四、五十台の車が全部動かなくて一台々々引出して氷を解いたので暇どりました車庫にスチームを通すやうにして明朝からは定時通り運轉しますから皆さまによろしくお傳へ下さい

酷寒來と飢餓迫る ルンペンの惱み

新京勞働會が救濟に奔走 道路掃除方を請願

鐵道北の新京勞働保護會では現在三十二名の人々が起居してゐるが、折柄の酷寒來とゝもに食ふに糧さへなく、現狀見るに忍びないものがあるので小松福祉委員は五日地方事務所を訪れ窮狀を訴ふるとゝもに、これが救濟方法として日本人の道路掃除方を進言した日本人の道路掃除についてはさきに自警會によつて行はれたが、當局としては滿人苦力並みに扱ふこともならず手古摺つた苦い經驗さへあるので、これが統制さへ完全に出來ればといふので二の足を踏んでゐる始末である、勞働保護會ではたゞ單に宿泊さすのみで彼等は自分自身の勞働によつて糧を稼ぐよりほかないが、この酷寒來では到底適當の口がなくこの冬をどうして越すかゞ緊急最大の惱みで永井同會長、小松福祉委員ら八方手を盡してゐるも今のところ何ら手掛かりもないやうである

二萬圓横領犯人も窃盗の被害者

久保山に懲役八ヶ月の判決

本年一月頃から九月頃まで新京市内及びハルビン方面にて前後十數回に亘つて窃盗を働き憲兵隊の手に捕へられ

爾來新京總領事館檢事事務に於て取調べ中であつた本籍福岡縣福岡市大工町番地不詳生れ新京附屬地東五條通末廣工務所久保山天津生（二四）にかかる公判は四日午前九時より總領事館公判廷に於て花輪裁判長係り下田檢事事務立會の下に開廷されたが下田檢事々務よりは久保山の犯行即ち久保山は遊里に耽溺し遊興費に窮した結果

本年一月附屬地露月町二丁目滿鐵共同浴場の監理人中江勇雄方に到り雜談中同人が席を外した際に机の上の金側婦人用腕時計時價三十圓、六月中旬市内浪速町二丁目六ノ四伊科館方の引越手傳ひを爲した際時價四十圓の寫眞機一台、同月下旬露月町二丁目中江勇雄方で時價廿二圓のクロム腕卷時計、七月中旬浪速町二丁目高野藤二方に於て洋服のポケットから現金十五圓同下旬日本橋通正隆寮方吉野邃一の居室に於て同人の隙にクロム腕卷時計時價廿五圓、同月日本橋通四十七番地永清寫眞館下川ツル方に於て神棚の現金三圓と押入れの手提金庫の中から現金五十圓、八月下旬浪速町二丁目六ノ四久保啓二方居室の洋服ポケットより現金四圓、九月七日ハルビン大直街二十七神内正治方に宿泊中同人の隙に乘じ同月十日午後六時頃机抽出を合鍵をもつて開き國幣六十圓同十一日午後六時頃同様手段をもつて二十圓、十二日午後四時頃家人の熟睡中國幣百二十圓と滿洲國彩票五枚を窃取逃走したもので久保山は窃取せる金はいづれも遊里に浪費し更に情狀酌量の

餘地なしと峻烈なる論告をなし花輪裁判長は懲役八ヶ月の判決を言ひ渡した

内地交迭凱旋兵 宇品に到着

【門司國通】滿洲、北支警備の重任を果した内地交代兵の凱旋兵〇〇部隊の〇〇名は三日朝關門を通過、無事宇品へ凱旋した

家人の隙に 盗まうと企つ

四日午後四時頃市内祝町二丁目松尾洋品店武富勝太郎氏方に朝鮮人行商人が訪れ家人の隙を窺ひ三ツ揃洋服を窃取逃走せんとするを新京署員が發見逮捕嚴重取調べると原籍朝鮮咸鏡北道明川郡下加面花台

市九十二番地目下住所不定孫龍變（二二）で引續き餘罪取調べ中

負ふてる子供の 腕輪を奪ふ

四日午後五時三十分頃城内五馬路和順爐趙貴林方趙祿和（四〇）が長男春生（一才）を抱いて小五馬路南側で見物中急に抱いてゐる子供が足をバタバタさせるので後を振り向いて見ると年齢三十歳位の男が春生の右腕にはめてゐる銀製腕輪を正に抜きとらんとするので直ちにひつ捕へ警察へ同行する途中新京署の刑事巡捕が發見本署に引致し嚴重取調べると本籍山東省生れ無職李明元（三〇）で懷中には時計腕輪其他装身具を多數所持して居たので引續き嚴重取調べ中であるが李は夜店見物の婦女子の装身具を專門に掏摸つてゐたものらしい

電線泥棒捕はる

四日午後七時頃市内吉野町五丁目日滿電友社から電線一巻き時價五圓を窃取逃走する曲者を警戒中の新京署員が發見本署に引致取調べると本籍河北省保定府生れ目下鐵道北文化街大工李敬祥方泰振林（二一）で餘罪相當ある見込みで引續き取調べ中

小島文子孃 砲丸投で新記録

【東京國通】神宮大會最終日女子陸上選手權大會で小島文子孃は砲丸投げで十一米十六の日本新記録を作つた

國幣の統一には 關東軍範を示す

近く俸給、被服、糧食その他 全部を國幣で拂ふ

滿洲國通貨安定策の根本方針の確立による滿洲國内通貨の統一を圖るため關東軍、滿鐵では近く國幣による支拂ひを實現することゝなつたが、關東軍では近く諸支拂ひ即ち俸給、被服、糧食、建築材料等を一般に先立ち國幣によつて支拂ふことゝなつた、右金額は來年度滿洲事變費約一億六七千萬圓（要求額一億八千萬圓）の約半額八千萬圓以上に達するものとみられ國幣による通貨統一に多大な成果が期待されてゐる

これは年賀狀の 注文取りに大童

朝日印刷所の拔けがけ

これは年賀狀注文とりに早くもきのふから外交員を官廳、會社に派して同業者の先手を打つてゐる——市内入船町四丁目十九番地朝日印刷所では金文字刷、日滿國旗、奉書その他模様入、艶台紙など二十五種類の見本刷を綴つて役所々々を訪ねて注文取りに大童他の同業者では本年の料金もまだ具體的に決めてもおらず外交に出るのは二十日過ぎから始めるといつてゐる朝日印刷所としても昨年は十一月十五日すぎから始めたのに本年はそれより十日も早くから働きかけた、これも同業者增加の現はれか

霜月の聲聞いたけふ 早くも門松の聲

聖德會で請負を開始

長く續いた變態的氣溫を打破つて遂に訪れた初雪の色どりとともに、北滿特有の本格的嚴冬の到來が威示された、師走間だき霜月初めではあるが増す寒氣は早くも一片の憂愁と期待をほのめかして、漂ふ歳末の氣配が巷間の感傷に往來しはじめる—その前ぶれの最もなる一つ、社團法人新京聖德會では例年の如く早くも門松の請負を開始した、その前身勞働同志會創立當初より同會年中事業の一つとし、二十余年に亘る古き馴染みと支援とを重ねて來たこの請負事業は、これより擧る純益金を聖德太子堂維持費と貧困者救濟資金とに當てるもので會並びに個人的利益を一切無視したものであり年々各方面よりの盛んな利用に應じて來たものである、本年の請負經費は大體左の如くである同會では趣意書等を印刷配布して一般の利用を求めてゐる

特等	金二十五圓
一等	金十五圓
二等	金十圓
三等	金六圓

刑事と稱し 惡を働く

三十一日午後十一時三十分ごろ黒の中折帽を目深に黒のオーバを着した五尺三寸位の内地人男が城内大馬路飲食店牛莊に來たり酒一本を注文し女給大澤貞子さんのサービスで呑み終るや自分は領事館署の小谷刑事だが一寸取調べたいことがあるから來てくれと女給大澤を連出し長春旅社に連れ込み大澤に對しよからぬ行爲をなさんとしたが、大澤が應じなかつたところ大澤の腕卷金時計を拔きとり二、三日中に持參してやると言ひ同旅社を出て行つたが二、三日經つも前記男は訪れないので初めて詐欺にかゝつたことに氣づき四日午後領事館署に屆け出た、目下同署で犯人捜査中である

よりよき生活の 相談會

本一年間の締めくゝりと、來るべき新らしき年の明朗なる生活設計に心の準備にその與へられた生活を「よりよき生活」であらしめたいといふ意義のもとに新京友の會では十一月五日午前十時より記念公會堂に於て相談會を催した（寫眞は、東京友の會理事小林四枝女史の講話）

昨夜明倫街の 松龍洋行全燒

滿人職人一名燒死

五日午前二時卅分ごろ新京特別市明倫街家具製作販賣商松龍洋行こと松崎清九郎氏方職場から失火した、急報に接し滿洲國消防隊員が急行消火に努めたが木造建のことゝて火の廻り早く忽ちにして職場百坪並に事務室を全燒し同三時十分鎭火した、同工場に就寢してゐた滿人職人焦志成（二二）は逃げ場を失ひ猛火に包まれ無慘にも燒死した、届出とともに總領事館署から係員が現場に急行檢證を行つたところ原因は職場のストーブの不始末から引火したことが判明した、損害は家屋並に家具六萬圓である、同署では責任者につき嚴重取調中であるがなほ同家は國際運輸火災保險に一萬五千圓を加入してゐる

馬賊と誤認 自衛團に討たる

扶餘縣F樹部落へ猛威を振つてゐる反滿抗日の巨頭李海青の部下彭河を頭目とした匪賊が潜伏してゐるとの情報に接した首都警察廳司法科ではこれが逮捕のため三十日午前七時松井巡官は徐千兩警長宮下、司兩刑事外三名を引率し現地に急行同縣警務局の應援を得三十一日午後四時ごろ一隊はいづれも便衣に變裝し頭目彭河の隱家を襲つたところ彭河は早くも一隊の襲撃を知り風を喰つて逃走したが一隊が部下彭悦（四〇）、彭景池（三二）、孫貴興（二八）の三名を襲ひ逮捕するや部落民はそれ馬賊の襲撃だと早合點、大騒ぎとなり隣村の自衛團に急報したので同團から團員十名がかけつけ捜査隊に向け發砲しばし應戰の後自衛團に漸く捜査隊なることと判明、團員は發砲を中止し捜査隊は更に前記三名並に頭目の隱家を捜査し小銃二挺、同實彈百二十五發、モーゼル拳銃四挺、同實彈八十一發を押收し三日午後悠々歸廳した

十月末迄 傳染病發生狀況

新京附屬地内に於ける昭和十年十月末日まで傳染病發生患者の累計は四百三十五名このうち全治したもの三百五十一名死亡四十名といふ數字を示してゐる、これを前年同期に比べると發生累計に於て十名の増加、全治者に於て十七名の減、死者四名の増加であつて數字的に見れば前年より約十名の増加であるが人口に比例すればはるかに減少してゐる、死者の多いのは本年は赤痢が遲くまで發生したのと疫痢、ヂフテリヤ等の死者が殖へた關係と見られる各種別發生數を示せば左の如くである

△赤痢二〇四△腸チブス四五△パラチフス六△疫痢二四△猩紅熱九三△ジフテリヤ五一△流腦八△發疹チブス三計四三五

古澤指導官 奪還さる

去る十月二十六日電話架設のため通遼方面に出張中五湖、月山匪約百名のために拉致された興安南省東科中旗古澤指導官は末松部隊、篠原警備軍等の晝夜を分たぬ勇猛果敢な追撃の結果十一月一日無事奪還され五日通遼に生還した

滿人警官討伐隊 匪團に拉致

【關東局入電】四日午前六時頃桓仁縣第六區警察署長以下十五名、保甲團十七名は最近縣下第六八區方面に横行中の紅軍匪を討伐に向ふ途中紅軍匪首韓司令、李相山匪の合流匪三百のため逆襲せられ全員武裝解除を受け拉致された、匪團は警察隊を拉致逃走中電話線を切斷したので詳細不明

金光教々祖大祭

金光教會新京教會所では來る六日午後二時より同教會所において教祖大祭を擧行する

あす（五日）

△防護デー豫行演習　午後六時空襲警報、同十五分解除

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇長唄秋色種（東京）▲七・三〇混聲合唱（無伴奏）（東京）▲七・四五講談秋色櫻（東京）一龍齋貞山▲八・〇五新小唄（一）下谷八景（二）上野まつり（三）下谷をどり（東京）下谷、根岸藝妓連中—上野科學博物館より中繼

ホールはも少し催しに力を入れていいと思ふ▲二日、三日といふ日に東京では何をやつてゐたか、川口では永井美奈子に歌はせ川崎ではディックミネに歌はせユニオンでは晝までノーテイケットといふやり方だ▲奉天ではスターが、「秘密ラッキー」とか稱してその上タップのカシノ氏といふのゝ出演あり、會館では「直輸入スペイン踊りの夕べ」とあり、明星では「滿洲菊正デイ」とあり本物の菊を並べての盛況であつた▲客を出來るだけ喜ばせるやうに努めて欲しい

けふの銀相場

國幣對金票	一〇〇圓〇〇錢
鈔票對金票	一二五圓
國幣對鈔票	―
現大洋對鈔票	―

天氣と氣温

明日の天氣　西寄の風晴
日の出　午前六時二十一分
日の入　午後四時二十四分
月の出　午後一時四十三分
月の入　午前〇時三十九分
けふの氣温　最高零下一度二　最低零下十三度一

誰が殺したか（上海事變）
國枝史郎 作　龍造寺瞻 畫

二一九　第二の殺人　八九

犬の、けたゝましい吠聲を聴きつけて、皆川刑事たちは、バラバラと走つてきたので、いまは、唐屋も、絶體絶命におちいつてしまつた。

突嗟のあひだに、彼はいさぎよく覺悟をきめてしまつた。

自分からすゝんで、裏口からはいつていつた。

「まあ／＼、皆川さん！そんなにさわがなくたつていゝや！もう逃げもかくれもしねえから」

この大膽な態度と、だしぬけの出現とで、さすがに皆川刑事も、どきもをぬかれた、形であつた。

「皆川さん！どうも、いろ／＼ご苦勞をかけたが、おれは、實はたつた一目、この赤ん坊に、

たかつたんだ！この子供をひとめ見たいばつかりに、今まで、卑怯なまねをしてゐたわけだ、まつたくすまねえ！所で、昔から、武士にも情ッてい事もあるんだから、一寸の間、俺に、此子供を、抱かしてやつてくれ、おたのみだ！このとほり、たのまア……」

唐屋は、あたまをたれた。

女房は、一時は驚き、又、其言葉を聞いて、刑事たちのすきをみて、いきなり、赤ん坊を唐屋の兩手の間へつきこんでしまつた。

赤ん坊は、ワッと泣きだした。

唐屋は、飛上る様にして赤……と兩手のなかにだきこんだ。

皆川刑事は、たゞ、この際、にがしちやならないといふ一念で、騒ぎ立つ、外の刑事をおさへた。

「まあ、待て！」

「一寸です！一寸です！決して、決して、逃げません！」

心から、うれしさうにして、赤ん坊の顔をのぞきながら、皆川刑事にまた、おじぎをした。

それから、ベソを掻いた赤ん坊の顔を、しげ／＼と見つめた。

「なあ、俺が分るか、俺はお前のちやんだぜ！ちやんの顔が分るか、おゝいゝ子だ、いゝ子だ、もう泣くんぢやない、ちやんが抱いてゐるんだから、泣くんぢやないぞ、おゝいゝ子だ！いゝ子だ！泣きやめたな、笑ふのか、、おゝちやんが分ッたんか？うむ！分ッたんか？おゝ坊やはいゝ子だから、おとなしく、まつてゐるのだぞ！今度出てきたらな、こんな苦勞はさせないぞ、きつと、お前を立派に育てるからな、おとなしくしてまつてゐるのだぞ！」

「おい／＼、もういゝだらう」

ほかの刑事は、赤ん坊をもぎとるやうにした。

女房は、涙をすゝり鼻をふいて

「旦那様！お願ひです。もう一寸、我慢してやつて下さい、ね、旦那様！夫ぢや、あんまり邪慳ぢやありませんか！どうぞ、おねがひです！」

「いや、また、出てくれあ逢へるんだ、もうはなせよ」

皆川刑事も、かたはらから、口をそろへて、赤ん坊をとりあげた。

とりあげられた赤ん坊は、無心に、ニコ／＼とわらつてゐた。

「今迄どこに隠れてゐたんだ」

「子供にあひたいばかりに、この床下にはいつてゐたんで……」

「床下に……？」

「……………」

「威張なア、そして、犬に吠られたッてわけだなア」

引立てられる唐屋を、女房は、姿が見えなくなるまで見送つて、涙をふいてゐた。

（この篇今野賢三作）

映画と演藝

映畫に於ける風景描寫について（下）
古關學

とは云へその最も本質的な原因は實に實寫的要素そのものの映畫藝術的發展であると云はなくてはならぬこゝでは最早それは單なる從來の實寫的實寫に終つてはならないことに云ふ實寫に於ける現實とは客觀的な存在ではなく我々の印象の世界を形作る現實でなければならない、つまり現實感である、この現實感は映畫の發生當時に於けるが如き單なる機械的な再現に依つては完全に媒介することは出來ないのである。

◇

こゝに於いて一群の聰明な眞摯な研究家は現實を表現するものはカメラではなくモンターヂュであるといふ結論に到達した、實寫映畫は單なる實寫的再現から一歩の飛躍をなし藝術的創造の域にまで進展したのであるプドオフキンの『生命のない現實の形骸がスケリーンの上で生命を得ることゝなつた』とは余りにも理論を弄びすぎた感がないでもないが、とにかく現實の風景乃至事物が映畫の表現手段の重要且つ嶄新な素材として認められたのである。

◇

斯くしてソヴイエットのミハエル・カウフマンの「春」七巻は最も意味深きものとなるのであるそこには所謂「物語」の片影だに見出すことが出來ない、その優れた撮影技術、大きな映畫的タクト、及び特に重要な點としてその尖鋭且つ正確なモンターヂュの驅使、映畫のリズム的完全さと明瞭さこれらがこの映畫の決定的且つ全部的な役割を演じてゐるのである。カウフマンは各被撮影風景から最大限の印象を引き出すことに成功し、我々は時にその色彩なき畫面から色彩を感じ、生なき畫面から脈々たる息ぶきをさへ感ずるのである

◇

ともあれ優れた風景描寫を持つ映畫の如何に我々に親しくなつかきしことよ、古くは「パンドラの箱」「歸郷」「大地」「青の光」「旅愁」新らしくは「商船テナシチー」「ながれ」「黒鯨亭」等々……。

◇

要するに我々は現實の世界に於いて文藝、映畫の世界に於いて既に余りにも多くの、「人」に接してゐる。それは我々の心を混濁と迷矇との中に導く。それに反して自然の風景は決して卑陋な容貌を表はさない。よし風景は常に精神の色彩を帶びてゐるものであつて、歡びの中にある人にとつてはその風景は喜悦に溢ふれるものであり、悲しみに沈む人にとつてはその風景の中に嘲笑と侮蔑とを感ずるであらうけれども、人はそれによつて何故か一種の慰めと勵ましとを感得するのである。映畫に於いては我々は斯樣な風景描寫の部分にこそ「觀賞の妙味」を見出すのであつて我々は我々の心象に微妙に應へてくれる。「風景」を切に欲するのである

五十六番街の家

ワーナー・ナショナル映畫、ロバート・フローレイの監督作品でケイ・フランシスがリカアード・コーテッツと共に主演する映畫である、賭博に言ひ知れぬ魅力を感ずる女ペギーが、いまはしき血と遺傳との相剋に、數奇な生涯をたどると言つた筋で、原作はジョセフ・サントリー、脚色はオースティン・パーカー、シェリダン・ギブニー、撮影はアーネスト・ホーラーが夫々擔る、ケイ・フランシスを愉しむに手頃な作品である（近日長春座上映）

撮影所だより

▲「武器なき人々」製作スタッフ決定　月形龍之介初の現代劇主演として新興東京が大いにヒットせんとしてゐるオールトーキーの大作新進流行作家中野實原作、「オール讀物十一月號掲載」の悲劇「武器なき人々」の製作スタッフは未定のカメラを三木茂が擔當と決定、脚色陶山密、監督青山三郎と並び茲に名スタッフが完成した、尚東京日々新聞主催の各社映畫コンクールに出品の新興東京作品はこの「武器なき人々」ときまつた。

▲新興「王座目指して」完成　新興東京撮影所の特作、上野眞嗣監督、杉浦宏樹カメラの新人コンビに依るオールトーキー「王座目指して」はファンの待望裡に去月三十日、合宿のセットシーンを以て、谷津スタヂオに於ける第一クランク以來四ヶ月の大撮影を完了した、原作脚色共に一木歡のオリヂナル物、立松晃、江川なほみ、姫宮接子其他新興東京の清新メンバー總出演の明朗なる青春謳歌篇である。

▲田中重雄監督作品「喘ぐ白鳥」完成　高田稔、伏見信子、高津慶子の强力スタッフ主演による、新興高田プロ合同作品、田中重雄監督のオールサウンド版「喘ぐ白鳥」は去月廿六日未明、愈々大泉新撮影所の第一聲として數旬に亙る撮影を完了した。

音樂

古關學君の「映畫における風景描寫について」は、以前學藝欄で取扱つた同樣題名のものと殆んど同じ内容であるが、同君のやうな特殊な映畫愛好者のゐることは喜びである、演藝欄もある程度かうした眞面目な研究にはスペースを提供する積りであるから、隠れた研究家、愛好家は大いに筆をとつてこの道の啓發につとめて欲しい▲本社の演藝放送新人募集について「伴奏者は自分で選ぶのか？」と、屢々電話で問ひ合せがあるが、勿論伴奏者は自分で選んで頂きたいのである、人の選んだ伴奏者で上手く伴奏のつけて貰へる筈がないのである、著名な人達でも伴奏者には苦勞することを考へたから、新人たらんとする人々のかゝる不用意は絶對に避くべきことであらう、一言念のために▲「モロッコ」當り「あばれ行燈」當る、三日明治節は晝夜共に滿員であつた、このところ素晴しい現象である▲帝都キネマの上棟式が三日擧行された、素晴しき馬力ではある、繰返し豫定通りの竣工を、ひたすらに待望するものである

今日の演藝街

△長春座―六日まで、山田五十鈴、夏川大二郎の「折鶴お千」市川右太衛門の「千石鶴」高田浩吉、及川道子の「女性の切札」

△新京キネマ―五日まで、黒川彌太郎の「あばれ行燈」瀧花久子、島耕二、中田弘二の「深夜の太陽」江川宇禮雄の「新妻と居候」「噴火山上の伊太利とエチオピア」「日滿航空旅行」

居住消息

▲丹野知邦氏（宮崎縣）室町二丁目三番地室町ビル三十六號へ

▲牧瀨忠能氏（佐賀縣）千鳥町一丁目十三番地へ

▲西邑甚之助氏（滋賀縣）大通から曙町三丁目二番地へ

轉居

▲竹本曙氏羽衣町から露月町四丁目二番地へ

▲谷口長衛氏花園町から同

▲松浦信二氏中央通りから室町二丁目三番地室町ビル十號へ

▲前川九十氏菊水町から住吉町一丁目二番地へ

▲新保喜一氏高砂町から朝日通り五十五番地へ

出生

▲日根勝三氏（入船町二丁目二十二番地）長男弘さん二十一日出生

▲倉田熊勇氏（桔梗町陸官五十七號）長女康子さん二十七日出生

▲有吉隆氏（日本橋通り八十二番地）三男高光さん二十四日出生

▲龜山亭氏（崇智路三百廿號）三女道子さん廿七日出生

▲兒島守胤氏（花園町二丁目四番地）次男信紀さん二十四日出生

▲近江庄太郎氏（富士町二丁目二十六番地）男庄市さん二十八日出生

▲米田芳助氏（彌生町一丁目）長男行德さん廿二日出生

▲久保田忠夫氏（蓬萊町四丁目）四女祐子さん二十二日出生

死亡

▲仲川正枝さん（住吉町三丁目二番地）四日午前七時二十分死亡

十一月六日　水曜　丙戌　友引　建　参宿　舊十月十一日

●一白の人　物事の思案に暮れ逡巡して望み遂げがたし　午と辛と癸が吉

●二黒の人　小策を弄して却つて失敗す堂々として進め　丁と申と壬が吉

●三碧の人　意氣消沈して不快なる日何事も達しがたし　甲と乙と辛が吉

●四綠の人　故障の爲めに元氣は皆無となり憂欝を增す　甲と乙と庚が吉

●五黄の人　工風才覺の思ひ通りに運ばず苦悶あり注意　申と子と癸が吉

●六白の人、精勵すれば諸事の向上あり不熱心は大失敗　申と壬と癸が吉

●七赤の人　萬事調達有利に展開すべき日起業緣談亦吉　丙と丁と申が吉

●八白の人　輕動を愼しみて行ふ事は咎なし病難は注意　未と壬と丑が吉

●九紫の人　勉めて倦く事なければ進んで成らざるなし　庚と辛と乾が吉

新物大豆は殆んど不合格
含水分多く業者意外の感
對歐輸出減少せん

【ハルビン國通】今年度の大豆は豐作の上に品質も良好であるものと期待されてゐたが最近當地に出廻る大豆は水分含有量多く一五パーセント乃至一八パーセントに達し當業者は意外の感に打たれてゐるこれは十月中旬以後の脫穀期に降雨が多かつた爲めであるが混保物は水分一三パーセント半、ハルビン交易所受渡し物は一五パーセント半迄で最近の出廻り品は殆んど不合格であり今後の出廻り品も同樣の品質であるとすれば大豆の對歐洲輸出は相當の減少を免かれないものと憂慮されてゐる

滿支間直通貨物連絡
本年内に實現せん

【奉天國通】奉天、北平を繋ぐ滿支直通列車は東方旅行社の手によつて圓滿に運行を繼續し非常な好成績を擧げてゐるが、北支の積極的經濟開發の具體化に伴ひ滿支間の經濟は愈よ緊密の度を加へつゝある現狀に鑑み、直通列車開設以來の懸案となつてゐる滿支間貨物連絡運輸を開始することに決定し、目下諸富總局貨物課長が天津に出張、北寧鐵路總局と最後的折衝中で同課長の歸任後正式に決定するものと見られてゐるが各方面から待望されてゐる滿支貨物直通は遲くも本年中には實現するものと見られ、今回の直通列車の運行により從來山海關に於て積替へ並に託送替へ等に煩雜な手續きを要したものが簡易化されると同時に輸送期間も著しく短縮せられ滿支交通運輸上に一大貢獻をなすものとしてその實現を待望されてゐる

伊政府 石炭節約案決定

【ローマ三日發國通】制裁案の發動を目前に控へイタリー政府は三日石炭節約案を決定し十一月六日以降全國鐵道に亘り實施することになつた、節約案の要旨次の通り

一、石炭の消費節約のため九千五百七十粁に亘る列車の運行を停止する

一、貨物列車は出來る限り電化線を利用する

一方イタリー國民は自發的に制裁抗爭委員會、制裁國品不買聯盟を組織し擧國一致政府を支持し制裁案を粉碎する意氣込みである、抗爭委員會の提唱に基き全國小學校は多期に至るも煖房裝置を使用しないことに決定した、尚洋服業總會も制裁國品不買案に合流した

大豆新物出廻り 依然捗々しからず

【ハルビン國通】大豆新物の出廻りは例年に比して著しく遲れ在貨の拂底から遂に大連市場の受渡し不能問題まで惹起したがその後沿線各地からハルビンへの出廻りは依然はかばかしからず松花江航運で一日四五十車に過ぎないが今朝は嚴寒襲來降雪を見たので此儘氣溫が低下すれば愈々本格的出廻り期に入るが逆に氣溫が再び上昇すれば雪融けの爲め却つて出廻りを阻止する結果となるのでこのところ大豆出廻りは天候案じの態である

日本鋼材市場
滿洲から支那に移る
本邦諸社進出に努力

日本鋼材の支那進出は本年に入つて激増を示して居るが、滿洲市場で昭和製鋼の增産進捗並に鞍山鋼材の壓延開始で將來內地側としては勢ひ地理的條件に惠まれてゐる支那市場の開拓に一層努力すべき情勢となり、今後は支那市場に於いて本邦鋼材と歐洲カルテルとの間に激烈な地盤獲得戰が行はれることであらう、中にも海外進出第一義主義を振りかざしてゐる三井物産の如きは多大の犧牲を拂つて、さきには上海鐵商團を今回は天津の鐵商を招いて我國製鐵業の現狀を視察せしめる等、對支進出に大童となつて居り、これに對し三菱商事、岩井商店等は上海、天津等の各支店出張所の充實を圖つて虎視眈々たるものがある

大連鈔票市場は平靜

【大連國通】鈔票相場は今朝國民政府の幣制改革の報を入れた爲め一時狼狽氣味となり相場は百七圓二十錢の安値を見せ、その後上海市場が比較的落着きを見せてゐた爲漸次人氣も沈靜に歸し後場は滿洲國幣制統一に關する關東軍の發表があつたが該問題は既に先刻相場には折込濟みであつた爲殆んど何等の反響なく寧ろ今回の聲明により關東州內は幣制統一の範圍外に置かれる事判明した爲人氣は幾分好轉し一部空賣の買戾しも出て市況强調となり百十一圓の高値を示し百十圓八十錢と軟りに大引けた、尚關東州內は幣制統一の範圍外に置かれたとは言へ變則的通貨として大連に流通し殆んど投機の道具化して居る鈔票の流通禁止を滿洲國爲替管理施行に先立ち行はざれば爲替管理の强化は望み難しとなすものもありこの點當局の意向不明の爲各方面の臆測を逞くしてゐる

新京金融組合 十月中業績

組合員 加入九名 脫退三名 現在七七九名

出資口數 增加四五口 減少一五口 現在四〇一七口

預り金 預り高 六五四、〇〇三圓 拂戾高 六〇四、六一七圓 現在高 四九七、六三四圓

貸出金 新規貸出 八九〇、六一七圓 回收 八九九、五〇三圓 現在殘高 七九三、八〇三圓

當組合も今月中は先月より各種取扱高は減少するものと豫想せるに市況一般不振のため全々之に反し九月中より益々增加し預金取扱高三〇〇、〇〇〇圓貸出取扱高二〇〇、〇〇〇圓增加を示したるも回收又非常に良好にして貸出金は却つて九月より殘高に於て減じたる有樣なり預金は又之に反して益々每月增加し九月中より殘高に於て五〇、〇〇〇圓以上の增加となれり

市中は近年になき暖きため洋雜貨方面その他防寒關係のものゝ賣行惡く其方面は早く寒くなること希を望し居り土木建築關係は天候良く暖きため工事は順調に進み居れり特産も亦出廻り良く農家方面への賣行も良くなるものと見、市中の飲食店、料理屋、カフエー等は良き處は非常に良く惡き處は非常に惡いと云ふが如く斑のある狀態なり

滿洲經濟夜話 (23)

筆者はこゝで、簡單に當時のロシアについての觀察を書きたいと思ふ。

× ×

ロシアの極東政策は、前世紀四〇年代の末に第一回の脫皮を行つたと言はれてゐる。それ以前の、つまり十八世紀六、七〇年代からはじまつてレザノフ、ワルーゼンステルンの對日交涉（一八〇四年）を頂點とする一聯の極東政策は專ら十七世紀以來のロマノフ家の植民政策（掠奪的商業資本主義）の線上に在つたのである。ところが、一八四七年以來再建された新しい極東政策は、依然たるロマノフ家的植民政策の下にではあつたがそれはロシア近代資本主義の利害を抱きこんだところのものであつた。

ロマノフ王朝の利害とロシア産業の利害
シベリア鐵道が運んだもの

服部之總氏は「戰前帝國主義の成熟過程と支那の分割」と題する論文（「歷史科學」第三號所載）の中に斯う書いてゐる。

『……（ロシアの極東政策は）……（一九）八〇年代末に入つて二度目の脫皮を行つた。浦鹽かどこか――ともかく東亞沿岸の不凍港を終點とすべき性質のシベリア鐵道の建設がフランスの資本をまつて決定されたからである。シベリア鐵道の頑丈な機關車はこの時以來、ロマノフ家の泥棒的利害とロシア産業の全利害とフランス金融資本の利害を――さらに加へてよければ獨逸商品の東方販路とを一荷に積込んで、適確なテムポで極東への前進をはじめたのである。かうした二度目の脫皮を物語る最初の前哨戰の最初の舞台は、支那本土方面でなく東方に於ける支那の「屬邦」たる朝鮮にとられた。一八八五年の露韓密約（ラザレフ港租借其他）及び巨文島事件は後印度に於ける英佛最初の帝國主義的進出と單に時を同じくするだけでなく內面的に關係があつた』

長春

わが在外外務公館の情報活動に、些か缺くる所あるに非ずやとはかねて墺太利政變、その他の場合を例として云々された所であつた▲今次中華民國の幣制改革のそれにしてももとより國民政府自體が國內的にさへ事の發表をひた隱しにはしてゐたであらうがリース・ロス君の活動振りぐらゐは、眞實の所を突きとめて貰ひたかつたものである▲由來、外交は社交儀禮が大部分であるやうに考へられたかもしれぬがそれは間違ひだと思ふ、われらをして言はしむれば今日の場合、これとても平和の姿の中に於ける一種の戰爭に外ならないのではないか▲とはいへこの問題はまだこれからであらう、國民政府の努力が果して中國大衆の要求に沿ふての效果を擧げ得るか否か、それを眞に批判するものは、かれら三億數千萬の黎民である▲「雪しける錦道に月の冴えかへる」

商況

海外經濟電報 （十一月五日前場）

倫敦銀塊 二九片二分一
同 先限 二九片一六分三
紐育銀塊 六五仙八分三
孟買銀塊 六六留比八分七
米英爲替 四弗九仙八分三
米日爲替 二八弗七八仙
米支爲替 三〇弗三〇仙
スチール 四六弗四分三
アナゴンダ 二一弗八分五
英日爲替 一志二片六分三
英支爲替 一三弗八分一
印日爲替 七七留比八分五

▲米棉 現物 一一仙三五／十二月限 一〇仙九六／一月限 一〇仙八八／三月限 一〇仙八八／五月限 一〇仙七八／七月限 一〇仙七七／十月限 一〇仙五七

▲印棉 ブローチ 二二四留比／オームラ 一九六留比／ベンゴール 一五〇留比

▲市俄古小麥 十二月限 九八仙四分一／一月限 九七仙八分五／三月限 八九仙四分三

▲カルカッタ麻袋 青筋 二五留比八分三／鐵筋 二二留比八分三

金銀市況

●上海標金 昨引 [illegible]／本寄 [illegible]

●大連金鈔票 現物 [illegible]／十一月十三日限 [illegible]／十一月廿八日限 出來

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回買賣 一〇四、〇〇／第二回買賣 一〇四、二五／第三回買賣 一〇四、五〇

▲倫敦向 第一回買賣 一志三片一六分一／第二回買賣 一志三片八分五

▲紐育向 第一回買賣 三〇弗八分一／第二回買賣 三〇弗

▲大連爲替 ▲上海向 九六、〇〇／九五、五〇／九六、一〇／九五、六〇／九六、六〇 ▲臺灣向 九八、九〇／九九、〇〇／九九、五〇／九九、〇〇

▲阪神日米爲替 第一回買賣 二八弗一六分一

▲阪神日英爲替 第一回買賣 一志二片三二分一

●大連鈔票銀大洋 出來高／引 [illegible]

●奉天國幣金票 現物 一〇〇、〇〇 ▲十一月廿八日限 出來不申

●奉天國幣鈔票 現物 [illegible] ▲十一月廿八日限 [illegible]

●哈爾濱國幣金票 現物 一〇〇、〇〇 ▲十一月十三日限 出來不申 十一月廿八日限 一〇〇、〇〇

●安東國幣金票 現物 一〇〇、〇〇 十一月十三日限 出來不申 十一月廿八日限

株式相場

▲大阪株式（短期） 大新／鐘新／東新／日産

▲大連株式（短期） 五品／豆新／錢鈔／東新／滿鐵／二新／日産／鐘新

▲奉天株式（短期） 滿取／東新／大新／日産／五品／豆新／鐘新／滿鐵／二新／電甲／同乙／東拓／滿興

商品市況

▲大阪棉糸 優先／滿毛／日晉 ……

▲大阪棉花 當限／先限

▲大阪人絹 當限／先限

●大阪期米 當限／中限／先限

特產市況

●大連大豆 袋込／十一月限／十二月限／一月限／二月限／三月限

●同 豆粕 現物／十一月限／十二月限／一月限／二月限／三月限

●同 豆油 現物……

●同 高粱 現物……

●哈爾濱大豆 現物／十一月限／十二月限／一月限／二月限／三月限

●同 小麥 出來高 一〇〇車

▲神戶豆粕 十一月限／十二月限／一月限／二月限／十月限

新京取引所市況 （十一月五日前場）

●大豆 現物（一石値段）定期（混合百片値段） 寄 引 出來高

●鈔票對金票 十一月十三日限／十一月二十八日限

●國幣對鈔票 十一月十三日限／十一月二十八日限

國幣對金票／鈔票對金票／國幣對鈔票／現大洋對鈔票

新京日日新聞
朝刊
本紙朝夕刊十二頁
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇
發行人 松本勇
編輯人 十河榮忠
印刷人 水越内之介

具体化する治法問題

現地日滿委員、幹事會同 五日報告會議開催

現地案要綱を確立

愈々事項別條約締結交渉へ

治外法權撤廢並に附屬地行政權調整、移讓に關する日滿兩國政府の方針は去る十月東京において開催された中央現地合同會議で完全に意見の一致を見、大綱を決したが細目に關する諸問題は現地に一任することゝなり現地日滿當局では去る二日幹事會、四日上京委員會を開催、各項目にわたり全般的協議を遂げた結果五日午後二時から軍司令部會議室で現地日滿委員、幹事合同の報告會議を開催した、右報告會議は

委員＝板垣參謀副長、守屋大使館參事官、武部關東局司政部長、大達總務廳次長、大橋外交部次長

幹事＝永津大佐（幹事長）鹽澤中佐、花谷中佐、山本、花輪大使館兩書記官、植木中佐、御影池關東局行政課長星野財政部、淸水民政部、高橋實業部各總務司長、田村國稅科長

等日滿各關係者出席の下に行はれ、先づ各上京委員から過般の中央現地會議の情勢並に中央の意向を報告した後、今日まで委員會並に幹事會で考究された現地案につき最後的檢討を遂げ更に今後の具體的方針に關し全面的協議を行ひ午後五時散會した

右現地合同會議によつて現地案の要綱が確立されたので近く日滿兩國政府間に項別による條約締結交渉が開始されるものとみられ治法撤廢問題はこゝに急速なる具體化が期待されるに至つた

滿鐵資金五ヶ年計畫書

今月中に正式完成

【大連國通】滿鐵資金五ヶ年計畫は重役會議の承認を得た佐々木理事案に示された大綱に基き目下經理部に於て細目的に十一年度以降五ヶ年間の計約二億圓の資金を提出、殘金約三億圓は株金未拂十二年度三千六百萬圓、傍系株解放による賣上げ金約五千萬圓、計約八千萬圓の外社債發行限度擴張によるを原則とする投資豫定資金計畫中には十一年度以降四ヶ年間の事業費を含み新線建設、新設驛、壺蘆島羅津兩築港、北支經濟工作等約五億圓である

昨日の滿鐵重役會

天津事務所、興中公司問題協議

【大連國通】滿鐵では松岡、大村正副總裁以下各理事出席のもとに五日重役會議を開き天津に新設される天津事務所の職制並に人事、新設される興中公司の事業と滿鐵の天津事務所のそれとの間に重複を避けるため其事業範圍と種別を如何になすべきか直營事業の範圍を如何になすべきかにつき午前より午後に亘り重要協議をなした

御近影を御貸下げ

【東京國通】天皇陛下には陸軍特別大演習御統裁のため六日東京御發輦南九州の野に錦旗を進め給ふが、之に先立ち五日午後三時御近影を御貸下げになつた、御尊影は此程宮内省御寫眞部で謹しんで御撮影申上げたもので颯爽たる陸軍軍裝に大勳位功一級を始め各勳章略綬を御佩用陣太刀作りの新様式の御刀を佩かせられ御肩には双眼鏡をかけさせ給ひ白雪に召された御英姿である

資金繰りの方法及びこれに對する投資額等を數字に現し十一月末までに正式に資金五ヶ年計畫書を完成、關係各方面に提示して諒解を求むると共に必要によつては監督官廳の認可を申請し又勅令は改正の手續きを採る事となつたが、右の内容は資金繰り計畫十一年度以降五ヶ年間の社内營業剩餘金、積立金、保留金等よ

特別會計を設置し

國有林國家管理へ

―森林行政の一大進展―

實業部に於ては林力の保存、國土の保安に資するため森林資源の合理的經營を行ふべく過般來航空寫眞による基礎調査及び土壤調査を進めた結果林場權の整理を行ふ一方既得林業權を規整し着々整理の歩を進めてゐるが、國内全土に亘る國有林の經營方針は此程森林特別會計を設けて各地の森林事務所をして明年度より經營せしめる事に決定を見た

即ち森林收入約四百萬圓に中銀より六百萬圓を借入金により調達して合計一千萬圓の特別會計を明年度豫算に新しく編成して營林局設置迄は暫行的に森林事務所をして國有林の管理保護を行はしめるものであるが、從來の如く濫伐による森林の荒廢並に市場の狀況を無視した供給はその跡を絶ち統制ある管理の下に營林の實行需給の調節が行はれるものと期待せられてゐる

第六回內審總會

【東京國通】內閣審議會第六回總會は五日午前十時より首相官邸に於て開會、岡田首相高橋藏相の正副會長以下出席劈頭岡田首相より

現下內外の情勢に鑑み文教全般、即ち學校並に社會教育制度、學術振興等に關し之が根本的改善方策を樹立するは最も緊要である、これが刷新方策を諮問するとの旨を述べ、次で吉田調査局長官より政府諮問第二號內外の情勢に鑑み文教刷新に關する根本方策如何との主文並に理由書を朗讀說明を加へた後調査局で調査せる教育制度等の現狀に關する參考資料を提出、斯くて第二號諮問の總論的審議に入り前例により岡田首相指名の下に齋藤實氏を委員長とする特別委員會に附託正午散會した

軍縮會議兩全權を首相招待

【東京國通】岡田首相は五日午前十時軍縮會議首席全權たる永野大將及び全權永井大使を招き同會議に對する政府の方針を說明、兩全權を激勵懇談を重ねた

一千萬磅の程度では銀國有は至難

＝日本は當分態度を靜觀＝

【東京國通】孔祥熙、リース・ロス兩氏間に成立したと傳へられる支那幣制改革基金一千萬磅借款說が外務當局に異常なショックを與へた事は否み難く、外務當局は表面靜觀態度を裝つてゐるが此の借款成立を機とし從來の微溫的對支態度を根本的に變改すべき決意を餘儀なくされたのではないかと消息通は觀測してゐる汪精衛氏遭難に依り日支關係憂慮の矢先き國民政府が獨斷で斯く重大なる財政問題を擅行せるは必然的に將來の對支方針を硬化せしむるものと見られる、支那の幣制改革に對する外務、大藏兩省間の協議會は四日午後三時から外務省で開催、約二時間に亘つて協議の結果支那の爲替が安定するか否かは支那の銀國有に至大なる關係のあるアメリカの態度が判然しないので當分靜觀に決したが四日の協議會で一致した意見は左の如きものと確聞する

一、英國が一千萬磅借款に應じたか否か判然しないが何れにせよ今回の幣制改革裏面にイギリスの對支援助がなければならぬ、英支爲替を一志二片半に決定すれば世界の銀相場の開きを大にし此の結果銀の密輸と退藏は止まる所を知らぬであらう、それ故一千萬磅程度の借款で銀國有と幣制統一が出來るか否かは疑問である

一、支那銀問題はアメリカの支持なくしては解決し得ぬものであるから今回國民政府が平衡稅を一擧五割七分餘に引あげたのはまだアメリカと諒解出來てゐない證據と見られる

一、我が對支貿易は爲替安定で目前の處好影響があらうが持續性は疑問である

要するに支那の幣制統一の樞機を握るのは政治的安定勢力たる日本であるから冷靜に其の成行を注視して支持すべきや否やを決する必要があるが日本としては斯くの如き統一策では支那經濟の回復は困難であると確信して居る

在滿日本各機關も漸次國幣使用へ

滿洲名物の錢莊時代去る

通貨統制進捗

國幣一元化による滿洲國通貨の統制は、我が國の協力によつていよいよ實現されることゝなり、滿洲國通貨の安定と財政々策の確立上多大な成果が期待されてゐるが、關東軍、滿鐵、その他在滿日本各機關でも我が政府の方針に從ひ、漸次國幣を使用して友邦の通貨統一の完成に協力しつゝある、滿鐵では去る十月二十九日重役會の決定に基いて國幣對金票パーの指令を發して國幣使用の先鞭をつけたが、近く關東軍でも俸給、被服、糧食、建築材料等の支拂に國幣を使用することに決したほか、附屬地內日本側郵便局、電報局でも監督官廳關東局の正式指令はないが市民への便宜と國幣に對する懸念一掃のため國幣の受取り方を實施してゐるほど

國幣は金票に代つて滿洲國內は勿論附屬地內にも增加しつゝある、一般在滿邦人間では去る九月滿洲國政府が對金パーを聲明して以來國幣を使用するものが增へて市中の兩替店は全く商賣にならないといふ現狀で國幣と金票がパーであるといふ經濟的理由が自然的に

國幣の氾濫を招いてゐる、現在關東州、附屬地、滿洲國內に流通してゐる金票（朝鮮銀行劵）は約四、五千萬圓と推定され、そのうち滿洲國內の流通高は百萬圓內外といはれてゐるが、これ等の金票も中央、朝鮮兩銀行を始め關東軍、滿鐵等在滿日本官民の協力によつて國幣に統一される日も近い將來であらう

中銀、鮮銀間に於て細目協定協議

＝細目協定骨子要約＝

【東京國通】滿洲國々幣一元化に關する政府の方針決定に伴ひ問題は愈々兩國政府の手を離れて滿洲國中央銀行と朝鮮銀行間の交渉に移される事になり具體的細目協定は兩銀行より交渉員をあげ七日午後東京に開催される事になつた旣に滿洲中央銀行鷲尾理事は三日新京を出發五日午後三時着京して居り、鮮銀側は交渉員として東京駐在色部理事が之に當る筈であるが細目協定の骨子は大體左の二點に要約される

一、國幣價値の安定に資すべく鮮銀と中銀との間に適當なる業務上の協定を行ふ、即ち中銀の普通銀行業務は一切之を鮮銀に移管して專ら中央銀行としての業務に當る

一、鮮銀劵の漸進的回收に伴ふ滿洲國內に於る鮮銀の取引は今後國幣に依る分量が增大するが萬一日滿爲替等價關係に不安を生じた際蒙るべき爲替上の利損に對し鮮銀は中銀に對し何等か補償を要求して居り右補償問題の解決は細目交渉の前提要件ともなつてゐる

通銀行業務に付ては何等變動あるべき筈はなく、寧ろ滿洲國としては同行が依然として滿洲に於ける金融界の重鎭として今後益々其の

鮮銀の發展と援助を望む

―財政部當局談―

今回の滿洲國通貨統一方針の決定に關し鮮銀の在滿支店引揚げ說が流布され鮮銀當局としても迷惑して居るが之に關し財政當局では左の如き談話を發表した

昨日の聲明で明かなる如く今回の決定は、滿洲國幣制の統一强化の根本方針を定めたものであつて、之に伴ふ鮮銀の處置を含むものでない、滿洲に於ける鮮銀は發行權がなくなつて其の普

ソ聯南支赤化へ

國民政府容共策の現れか

蔣介石の容共政策復活の報は最近屢々各方面でも傳へられるところでありその動向は各方面に多大の關心を以て觀られてゐるが今回某方面よりの情報によれば、駐支ソ聯公使ボゴモロフ氏は支那の赤化運動を目指して頻りに暗躍し北支並に中支に對する工作の困難なるをみて先づ南支に魔手を延ばし現駐佛公使レウエンソン・アリフレツト氏及び前ハルピン總領事館員ブラウデの兩名を南支に派して赤化工作を行はんとしつゝある事實が暴露するに至り國民政府の容共政策の現れとして頗る重視されるに至つた、而して南支赤化工作の資金は上海の國民銀行より所要に應じてドシドシ融通されるといふ內約が結ばれてゐる確證も擧つてゐるのでソ聯の南支赤化工作陰謀の蔭に南京政府がどの程度の密接なる關係を有するか一方に親日轉向を傳へられてゐる折柄その擧措は多大の疑惑の目を以てみられてゐる

國務院會議 決定人事

四日の國務院會議は左の人事を決定した

專賣總署副署長 難波經一
副稅關長（哈爾濱）江原綱一
敍簡任二等

東條司令官 ハルビン巡視

【ハルビン國通】東條憲兵隊司令官は北滿管下初巡視のため昨五日午後九時十分飛行機にて新京より來哈、佐藤總領事、中井憲兵隊長、佐原局長

十月中の外國貿易概況

十月中の滿洲國主要稅關の取扱ひに係る外國貿易概況左の如くである（單位國幣千圓）

	輸入	輸出
大連	三、〇一二	[illegible]
ハルビン	三	[illegible]
安東	二、〇八五	[illegible]
營口	[illegible]	[illegible]
圖們	一三五	[illegible]
龍井村	二	[illegible]
淸津	八九一	[illegible]
雄基	[illegible]	[illegible]
承德	[illegible]	[illegible]
山海關	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]
輸出入總計	[illegible]	

信用と經驗とを活用し且發行銀行たる中央銀行と緊密なる協調を保ちつゝ滿洲經濟の發展の爲邁進せんことを切望し、又同行の發展に對しては充分なる期待をかけるものである

宋哲元氏北平市長に就任

【北平五日發國通】宋哲元氏の北平市長就任式は五日午前十時市政府に於て擧行されたが右終了後宋氏は市吏員を一堂に集め「如何にすれば北平市は明朗化するか」と言ふ力强い訓示を與へた

軍縮會議隨員決定

【東京國通】海軍々縮會議隨員は五日左の如く任命發表された

內閣書記官川島孝彥、外務書記官山形淸、同井上孝治郎、同加瀨俊一、大藏事務官植木庚子郎、陸軍大佐鈴木率道、海軍大佐岩下保太郎、同稻垣生起、同阿部勝雄、海軍中佐水野恭介、同西田正雄、海軍少佐光延東洋、海軍大尉森川秀也、海軍主計中佐爲本博鷹、海軍書記官榎本重治、海軍囑託溝田修一

ロンドン海軍々縮會議參列全權委員隨員被仰付

日支親善に盡力せん

宋北平市長談

【北平五日發國通】市長就任式後宋哲元氏は左の如く語つた

市長就任についての抱負は今や地に墮んとする道德の復興に邁進し人民生活の安定を圖るためよく民瘼を入れて人民生活改善の實を示したい、特に日支國交の親善に任じ之に暗影を與へる分子或は共產黨に徹底的掃蕩を加え以て外支を明朗化するつもりである

獨逸更に潛艦十六隻建造

【ベルリン四日發國通】ドイツ政府は再軍備宣言以來着々新銳潛水艦の建造を急ぎ既に新潛水艦六隻は就役したが海軍省公報によればドイツ政府に於ては更に潛水艦十六隻の建造に着手したといはれる

松岡總裁八日上京

【大連國通】松岡總裁は八日午前九時發アジアで羅津に赴く大村副總裁と同道、新京に赴く事になつたが新京に於て最近の滿鐵社業一般、興中公司、天津事務所問題を報告する筈である

等の出迎へを受け直に航空會社飛行場で日滿要人に面接の後中井憲兵隊長其他領警署長等を從へハルビン神社に參拜午前九時五十分憲兵隊本部、同分隊を巡視した

田中交通監督部長來奉

【奉天國通】沿線各地を視察中の田中交通監督部長は四日夜來奉、ヤマトホテルに一夜を明かし五日午前十時より鐵路總局を訪問、總局首腦部と會談の上市內各機關を訪問六日午後六時發ハトにて新京へ向ふ豫定である

航空往來

▲東條英機氏（關東憲兵隊司令官）五日午前ハルピンへ
▲國島義興氏（滿洲國官吏）同
▲磯井兵也氏（同）ハルピンより
▲木下豐氏（新京）同

語圏

酷寒來とともに飛び立つやうにルンペン地獄の種々相が描き出される、夏が來れば冬もあるべきだが、さて實際となる位のことは誰しも心掛けて置くべきだが、さて實際となると難しいと見える▼吾々は求めるに職もなく、食ふに一片のペンもない哀れな同胞が現に吾等と同じ新京にそれも相當數多くゐることを實に氣の毒に思ふ▼と同時に今少し事こゝに至るまでに何らかの方法がなかつたものかをルンペン諸君に對してよりもまづ以て當局の人々に聞きたい氣がする▼ルンペンにもいろ〳〵あり、靑雲の志を抱いて渡滿したが事志と違つて人生のドン底に投げ飛ばされた眞に同情すべきものもあれば所謂ルンペン稼業の者も決して尠くない▼これを一緒にして救濟を講ずることはそも〳〵不合理であり、却つてルンペンを助長する結果ともなる、その間の區別をはつきりして救濟すべきものは速かに適當な方法を以て救濟すべきであらう▼吾等の社會事業家又は當局者に望むところはたゞ形ばかりの救濟策でなくかうした哀れな人々を一人でもわが滿洲ひら少くすることである

社說

支那の幣制改革に就て　銀離脫は何を意味するか？

一

南京に於いて惹起した異變が人々の視聽をその結末如何にと向けさせてゐる時に、支那國民政府は、突如として去る四日朝、その幣制改革斷行を發表した、今にして思へば英國資本の利益を背景に、英國の支那に持つ利權の擁護のために過般來、日本と支那とを訪ひ諸要路と折衝奔走する所あつた、かのリース・ロス氏のけんめいな努力が、支那のいはゆる歐米派たる孔祥熙宋子文の取らんとする方向と結び付いた結果であらうと考へられるが、南京に於ける汪精衛の負傷といふこの緊張した特別な時期を狙つて急遽その發表を見たのは事實でありわれらは特に、支那のために多くを、深く考へさせられるのである。

二

報ぜられたところによれば要するに今次の國民政府の幣制改革の歸結點は、支那に於ける銀本位制の抛棄に外ならないであらう、暫らく問題を專ら財政、經濟の領域に限つて見る場合、かのアメリカの銀政策の實施以來、支那の財界は混亂と窮乏の底に陷れしめられたのであつて、何とかしてこの窮境を脫出すべきことは今日の支那にとつての重大問題であつた。元來支那の幣制はこれを制度といふには餘りに不統一であり、それぞれの鑄貨並に紙幣の間には一定の比率が存じないだけではなく、銀を基礎としての金融貨幣が專ら流通してゐるために、その爲替相場は直ちに銀價の動搖を反映し、政府の外國債券負擔はこの對外價値の下落から今日までしばしば論議の的となつたのであつた。だから支那に於ける幣制改革の運動は夙に喧傳され實行され來つたのであるが、かのケムメラーの改革案の如きも、充分には支那の實情に沿はないものとしてそのまゝ實現を見るには至らなかつたのであつた。今次の改革にしても、第一にその第一段の工作たるべき銀の國有が果して所期の如くに行はれ得るかは、支那國民の性情と、そして從來の支那政治、殊にはその財政の「非現代性」より見て、甚だ疑はしいところとされざるを得ぬ。

三

更に、われらをして深く考へしめるのは、若し對英借款一千萬磅成立の說を眞なりとして、それだけで支那の爲替を安定せしめ得るか否か、外國銀行の援助なくしてそれを遂行し得るか否かが疑問であるとともに、かゝる方向への支那の財政、金融の進み方は取りも直さず遲れたる半植民地支那をして、ますます歐洲資本主義の鐵鎖に緊縛せしめるものであるといふ事實である、支那の銀離脫、その意味はこゝにこそ痛切なものがある。

動向重視すべし　陝北の共產軍（下）

我北支工作滿洲國の治安攪亂

しからば陝西の共產軍は如何なる狀態にあるか、即ち徐海東軍は紅軍廿五軍と呼び前記の如く陝西省南部より甘肅を迂廻して陝北に入つたもので、あるが、途中討伐軍楊虎臣旅の武器、彈藥を掠奪し勢を得て得意の行進を行つたのである、廿五軍の軍長は程子華で徐海東は單に副軍長に過ぎず全軍の實權は軍政治委員吳煥先の掌中にあつた、吳は文武に通じ又雄辯を以て鳴らしてゐたが涇川西方に於て馬鴻賓軍と戰ひ激戰の結果陣沒した徐海東軍は三團より成る二〇三團、二〇五團及び軍部拳銃團に分れ兵力五千といはれてゐるが今迄の戰鬪の結果兵力約一團を失つたと報じてゐる軍律頗る嚴重で逃亡と投降は最も重く輕くて眼を缺ぐり重いものは銃殺される、地方民は廿五軍を指して童子軍と呼ぶ程平均年齡が若く大半は十五歳より廿歳迄の農村靑年である

×

一部の新聞には徐海東軍の行動は殘忍の極に達し姦淫殺害なさゞるなく、某縣長は虜へられた結果殺害され肉は八つざきにして街路に晒されたとあるも、信用すべき新聞の報導によれば過ぎる城市を占領せず土地は侵略せず農村には現金を與へ甘心を買ひ掠奪行爲は秋毫たりとも犯さない、又農村の物資を使用する時は一律に市價よりも高く買ひ取る等頗る誠意ある態度を示してゐると述べ彼等の金の出場所はソ聯だと暗示してゐる、この外陝北には劉子丹の紅軍廿六軍あり兵數七千と言はれてゐる、劉子丹が軍長で三ヶ師より編成され三ヶ師の下に十四個遊擊支部がありその下に各小隊に分れて赤衛隊がある、劉子丹軍の現在の赤化區域は寧夏省甕州より陝北保安松林をつなく長圓形の範圍にある

×

これに對し徐海東の赤化範圍は甘肅の合水より甘泉、延長を含む圓形を構成してゐる、更に陝北端より綏遠の伊克昭盟の一部にかけ吳勝旗の赤軍約二千が四十里堡を含む圓形を赤化區域としてゐる、右の結果より判斷して完全赤化區域は十三縣、半赤化區域は十數縣、赤化人民約八十萬、紅軍約二萬、赤衛隊約廿萬と見られてゐる、先般の閻錫山の報告によれば陝西に近い山西省十數縣は共軍の支配下に入つたといつてゐるが、今後山西の赤化も時の問題である、之に對し西北共產軍討伐のため舊東北は全部陝西に集結された、河北事變の結果追出された于學忠軍既に陝西にある外また最近では北平にゐた萬福麟軍も山西を通過、陝西に向ふこととなり既に行動を開始してをり、西安では七月廿七日以來張學良以下于學忠、王以哲、楊虎城、炳勳、孫蔚如、馮欽哉、井岳秀及び軍分會から陝北參謀團主任毛侃、鄧寶珊等が再三集り剿匪會議を行つた、集る軍隊約廿萬、しかもなほ陝北の剿匪を完全に行ひ得ない事も不思議であるが先般太原に飛んだ蔣介石が閻錫山に何を耳打ちしたか、彼蔣介石從來からの常套手段たる以夷制夷政策を想起せば思ひ半ばに過ぎるものがある、傳へられる彼の容共政策が眞實とすれば何を目標としてゐるか、共產軍今後の進路によつてその結果は明白とならうが云ふ迄もなく舊東北軍には西北五省乃至七省の地盤を開拓せしめ共產軍を東に進め山西を通過するか綏遠より東漸さすかして目下問題となる日本の北支工作の破壞と滿洲國の赤色包圍にある事勿論である、かくあるが故共產軍今後の動向が頗る關心を以て見られてゐる譯である

總務廳擴充に伴ふ　人事異動近く發令

營繕需品局長には笠原博士

國務院總務廳の機構擴充に伴ふ人事異動中簡任官以上は五日午前十時開會の參議府會議へ官制改正案と共に附議され審議の結果通過し、兩三日中に發令される運びとなつたが左の如きものと確聞する

主計處長　松田令輔
企劃處長へ
人事處給與科長　古海忠之
主計處長へ（簡任二等）
情報處長心得　宮脇襄二
情報處長へ（簡任二等）
統計處長心得　向井俊郎
統計處長へ（簡任二等）
需用處長心得　小泉三郎
需品處長へ（簡任二等）
需用處營繕科長　相賀兼介
營繕處長心得へ（薦任一等）
財政部國有財產科長　靑木實
實業部文書科長　美濃部洋次
民政部經理科長　高倉正
民政部事務官　坂田修一
法制局參事官　田村仙定
企劃處參事官へ（各通）

なほ企劃處參事官として交通部より一名任命される筈である、又擴充の營繕需品局長には元復興局技師現日本大學教授工學博士笠原敏郎博士が任命される模樣である

伊斯蘭教會　聲明

滿洲伊斯蘭教會では十月二十八日付で左の聲明をなした

本會は全滿伊斯蘭教を代表し政治に涉らず種族的結合に非ず、純潔なる宗教團體である、前に東土耳古韃靼民族が滿洲に於て韃靼民族文化協會を設立せんとして聲明を發表し、その后回教文字を利用して滿洲に於いて活動したものであるがこれらは本會とは無關係である又最近に新聞紙上で日滿回教徒聯盟會を結成せんとする等の事が報ぜられてゐるがこれは甚だ奇異に考へられる、本會は全滿にすでに百八十余處の分會を有しみな同一の宗旨を抱いてゐる報道された該回教徒とは志趣全く不同である日滿回教聯盟といふ如きことは有り得ない殊に日本の回教徒は露國籍、印度籍の居留民を除いては日本人で歸依してゐる者はまだ尠い所謂日滿回教徒聯盟は事實上成立し難いことは明瞭である、なほこれを利用して會外の不逞分子と勾結し政治種族上の活動が行はれはしないかとの惧れが存する、本會はこれに一切責任を負はないものである、こゝに再度聲明し內外人士の注意を希ふものである

雄羅鐵道開通式　代表參列者

來る九日羅津で開かれる雄羅鐵道開通式參列の在京各機關代表者一行二十三名は八日午九時三十分發臨時列車で北鮮に向ふ、一行の重なる代表者は左の如し

李交通部大臣、森田路政司長、孫財政部大臣、田中交通監督部長、伊藤鐵道出張所長、大島駐滿海軍部參謀長、安部新京醫院分院長その他

鄉軍代表　明徵決議文を首相に手交

【東京國通】九州以下北海道東北地區、京都、横須賀の鄉軍代表は本日夫々官邸に總理を訪問、福田秘書と會見して各團體の決議文を手交し、今後も國體明徵の徹底的實行、一木、金森兩氏の即時罷免を要求し、然らざれば岡田內閣は引責辭職を爲すべき旨力說して引揚げた

帝制派大勝　ギリシャの帝制十三年目に復活

【アテネ四日發國通】政體變革に關する人民投票は三日ギリシャ全國一齊に擧行されたが、帝制派は總投票四百萬の中殆ど九割五分の絕對多數を確保、壓倒的勝利を收めた、斯くして一九二二年十二月革命運動により樹立されたギリシャ共和政治は十三年にして顚覆し廢帝ゲオルギス二世の復辟が實現することとなつた

一日午後六時三十分よりの國民の時間に滿洲國民政部警務司長長尾吉五郎氏は左の如き放送を行つた

火藥類取締に關する法令の公布に際して

民政部警務司長　長尾吉五郎

本日火藥類取締法並に火藥類原料取締法が勅令を以て、煙火爆竹取締規則が民政部蒙政部共同部令を以て夫々公布せられまして、火藥類の取締に一大轉機を劃することと相成りましたに付ては、之等の法令に基く取締の大綱を御話し上げて大方の御參考に供したいと存じます。

×

御承知の如く銃砲火藥類は國家の治安に非常に密接なる關係を有するものでありまして治安維持上寸時も忽がせに出來ないものでありますので、大同二年五月取り敢えず暫行銃砲取締規則を制定實施致しまして銃器並に之に使用する彈藥の徹底的回收並に之が一般的取締を勵行して參つたのでありますが、火藥類一般に對する取締は種々の事情に依り更に根本的對策を講ずる必要がありましたので、僅かに彈藥に對する取締の外は從來の仕來りの儘に財政部の硝磺局に於きまして「國民政府硝磺類專運護照規則」と云ふ民國時代の古い援用法規に基き同局本來の業務でありまする所の硝磺の專賣に關聯して微溫的な取締を行つて來たに過ぎなかつたのであります。

×

今回公布されました火藥類取締法は其の法文の內容に於ては日本內地又は殖民地等の法令と殆んど大同小異でありまして茲に取りたてゝ申し上げる程のことはないのでありますが然し此の法文の運用に依る所の實質的取締に於きましては非常なる相違があるのであります、特に著しく相違してゐるのは火藥類の製造、販賣並に輸入の三點に關する取締であります。現在滿洲國領土內に於ける火藥類の製造は如何なる狀況に在るかと申しますと日本側に於きましては從來奉天造兵所滿洲鑛山藥株式會社及南滿火工品株式會社といふ三つの火藥類製造會社がありましたが最近滿洲鑛山藥株式會社は奉天造兵所に併合せられましたので現在では奉天造兵所と南滿火工品株式會社二社のみとなつております。又滿洲國側に於きましては財政部硝磺局が硝磺專賣の必要から許可致しましたところの製藥商なるものが全國に八十八戶散在しております。此の製藥商なるものは硝石を原料として黑色火藥のみを製造する極めて微々たるもので治安維持上實に寒心に堪へないものであります尙此の外にやはり硝磺局の許可を受け鹽酸加里を原料として火銃用の引火銅帽を製造する「製銅帽商」なるものが七十七戶ありますが之も製藥商同樣御話にならぬ貧弱なものであります

×

以上が火藥類製造の現狀でありますが然らば斯の如き現狀に對して新取締法は如何なる方針を以て臨むかと申しまするに現在滿洲國側にあります設備不完全なる製造業者は到底新法に依る製造營業者たる資格を有しないばかりでなく國內の治安維持上之を存立せしめ難い事情がありますので新法實施の日を以て全部之を禁止致しますると共に製造機關を統制することとし此の製造せられたる機關に限つて火藥類の製造を認むることに致したいのであります即ち製造を統制するといふことが火藥類製造に對する取締上の根本方針となつておるのであります、從つて將來一般人が窃かに火藥類を製造するやうなことがありますならば製造營業を爲さんとする意思ある場合は五年以下の有期徒刑又は三千圓以下の罰金然らざる場合と雖三年以下の有期徒刑又は二千圓以下の罰金といふ極めて重い處罰を受けなければならないのであります茲に一言附加しておきたいと思ひますのは液體空氣爆藥のことでありますがこの液體空氣爆藥なるものは製造が現地で極めて簡單に且つ安價に出來ます爲に爆破用として鑛工業者に使用されてゐるものでありますが此種火藥類は現地に於て製造すると直ちに之を使用せねば效力を失ふものでありまして使用を取締ることに依り充分に警察取締の目的を達することが出來まするのと一般の利便を考へまして製造制限に對する唯一の例外として製造は自由に之を認めることとし只使用に當り許可を受けしむることと致したいのであります。

商況欄（十一月五日後場）

金銀市況

●上海標金　前引　一二四七・七〇
●大連金鈔票　寄付　二一・七〇　引　二一・七〇　高　二一・八〇　安　二一・七〇　出來高　六〇〇

爲替相場

▲上海爲替　日本向　一〇四・〇〇　一〇四・五〇
▲倫敦向　第一回賣買　一志二片一六分九　八分五　第二回賣買　第三回賣買
▲紐育向　第一回賣買　二九弗一六分一　八分七五　第二回賣買　第三回賣買
▲大連爲替　▲上海向　九三・〇〇　九三・三〇〇　九三・五〇〇
▲煙台向　九三・五五

株式相場

▲大連株式（短期）

名	寄	引
五品新	一六・七〇	一六・七〇
豆鈔新	三三・〇〇	—
錢新	一六・六〇	—
東新	一六三・七〇	一六一・五〇
鐘新	一四・六〇	—
滿鐵新	六〇・五〇	—
二產	三五・八〇	—

▲奉天株式（短期）

名	寄	引
日產新	七九・七〇	—
滿取	一七・五〇	一七・〇〇
東新	一六三・一〇	一六一・一〇
鐘新	一四〇・八〇	一四〇・三〇
日產新	九九・七〇	九九・三〇
大新	九八・〇〇	九七・五〇
五品新	一六・七〇	—
豆甲	三三・五〇	—
電乙	一六・三〇	一六・一〇
同	一三・二〇	一三・二〇

▲十一月十三日限　十一月二十八日限

	十三日限	二十八日限
寄付	二・三六	出
步	二一・四〇	
引	二・六〇	來
高	二・三五	
安	二・〇〇	不
出來高	一・七〇	申

●大連鈔票銀大洋　現物　一五六・〇〇　一五七・〇〇
●大連鈔票銀大洋　現物　▲十一月廿八日限　一〇〇・〇〇　一〇〇・〇〇

新京取引所市況（十一月五日後場）

現物（一石値段）定期（混合百斤値段）

品	寄	引
大豆　先物	一三・九〇	三車
十一月限	四・三〇	四・九〇　十六車
十二月限	四・二一	四・二一　七車
一月限	—	—
九月限	—	—
十月限	—	—
高粱	—	—
鈔票對金票　十三日限	二十八日限	
寄	一二・三〇	一二・三〇
引	一二・二〇	一二・二〇
出來高	十六萬	十二萬
國幣對鈔票　十三日限	二十八日限	
寄	八九・〇〇	八九・〇〇
引	八九・〇〇	八九・〇〇
出來高	四萬	四萬

手形交換（五日）

金票　三八枚　二〇七・三三八・〇五
鈔票　枚
國幣　三六枚　一八一・五三二・〇八

各地市況

名	前引	後引
滿鐵	六七・六	六七・〇
東拓	一五・四	—
東亞	一〇・一〇	一〇・一〇
日清	三八・五〇	三八・〇〇
滿興	三五・三〇	三五・三〇
滿毛	一六・六	一六・五
二新	三五・八	三五・八
優先	一七・二〇	一七・二〇

●横濱生糸　當限　後場引　九八〇・〇〇　九八一・〇〇
先限　九七三・〇〇　九七三・〇〇

●哈爾濱大豆　十一月限　一〇八〇〇　一月限　九・六〇〇　出來高　九・五〇〇

●同小麥　十一月限　十二月限　一月限　一・二二五　出來高　一・四三〇

●神戶豆粕　十一月限　四・一七　十二月限　四・〇一　一月限　四・〇一　二月限　四・〇二　三月限　四・〇四

鮮魚小賣相場（五日）

百匁ニ付　最高　最低

品名	最高	最低
活タイ	一三	七二
氷タイ	—	—
チヌタイ	三六	二四
アマタイ	—	—
中小タイ	六六	六〇
小タイ	六六	四八
サバ	一二	六
アヂ	一九	—
カレイ	一七	大
ヒラメ	—	—
ボラ	—	—
コチ	一八	一六
コノシロ	—	—
キス	三六	三〇
イワシ	一六	—
マナ鰹	六〇	四六
タチウオ	—	—
トビウオ	—	—
メバル	二八	—
ムツ	一六	—
アユ	三二	—
サヨリ	五〇	四二
カナ頭	—	—
グチ	—	—
ホーボー	—	—
タコ	一二	一八
イカ	一五	一三
ハモ	一九	一四
アナゴ	三六	一一
カイ柱	一四	—
ナマコ	一九	—
アワビ	—	—
カキ	七〇	—
シジミ	—	—
マサリ	—	—
カマボコ	七	三六
チクワ	三三	八三
マグロ切身	三八	八
ニベ同	九一	三
ブリ同	四六	一六
サワラ同	六二	三六
ヒラメ同	六〇	一九
ヒラス同	六〇	六五
スキ同	二二〇	—

表裏懸隔甚だしい ソ聯の國民生活(下)

然るに軍隊、艦隊、責任黨員、義勇隊、ゲ・ペ・ウ、刑事警察隊等に供給してゐる商店賣店等に於る商品は一般に比し一段保障されてゐる、或程度外國商店らしきものを思はしむるものはトルクシンのみにしてトルクシンに於ては特に金銀、ダイヤモンド又は外國貨幣を以て賣買さるる爲め小兒を持つ婦人等は自己の所持する金製品を持參し、バタ、砂糖、饅頭、粉燒菓子等を買ひ與へつつある、然るにソ聯に入國せる諸外國人がソ聯に於る商品の

缺乏

に關して語る所少なき所以は彼等は上流快適なるホテルの一室にあつて各種豐富なる食事とジャズを奏してダンスを樂み得るホテル附レストランを利用し得るが爲めである、外國人はトルクシンに於てフラン、コーク等の自國貨幣にて自由に商品を購入し得るもので一度モスクワオペラ座に入場すれば豪奢なる設備、絢爛なる舞臺に依つて完全に悦樂を貪り得る、又幕合には觀客遊歩場の散歩清潔快適なる食糧飲料は堵列し切符も要せずして求め得られる、但し其の價格は一般に比し稍高價である、其の一例を示せば

肉饅頭　一個　二、五〇留
リンゴ　一個　五、〇〇留
チヨコレート菓子　一個　〇、七〇—一、〇〇留

ボリジエビキーは外國人のオペラを愛するを知つて此處に其の有するものを彼等に明示せんとするに反し他の劇場例へば藝術座は其の食堂、オペラ座の其れと著しく相違し其の十分の一にも及ばざる

狀態

であり蓋し藝術座への外國人觀劇は全く行はれざる爲めである、藝術座に於る食料品は不足勝なる爲め普通第一の幕合には既に飢餓大衆の爲めに買ひ盡さるゝ事が多いと言はれてゐる、又或る者は最も安き座席を求めて入場し食堂に於る自己の食事或は客用のピローシキ、サンドウイッチ等の購入に利用する者さへありと言はれてゐる、露西亞に於て果實の豐富なことは既に一般定評ある所なるに拘らず果物の個人營業者なく國家は左の如き方法を以て其の供給を爲してゐる、即ち毎春消費組合代表者は各機關工場會社及び各個人より果實の希望豫約を徵し(但し果實一人當り十五フントを越ゆる事を得ない)從つて豫約果實の質等については何人も之を知るを得ない而して豫約品は九、十、十一十二月中の申込者に

配給

される、酒は豫約の際前納として現物は其の領收證と引替へに行はれる、現物配給時に於ても其の入手には極めて困難を伴ひ現金即時購入は許されず唯豫約者のみに分配される狀態にして其他は輸出トルクシン黨員等に對する供給を終へたる後、尙ほ餘剩品ある場合のみ豫約者以外の者に販賣される、

二、魚業、肉產業品

農民の手元に於ける家畜の缺乏は又遊牧民の下に於ける肉類畜出の不活潑となり一般供給不充分となり肉は總て切符制度により勞働者及び技術者には月一—二フントを支給される、一般食堂に於ける肉料理は極めて稀であり、主としてパン粉又は馬鈴薯を多量に使用せるカツレツとして提供され肉は殆ど使用されてゐない、畜肉計畫行はれつつあるも肉用家畜は增大せず却つて減少を示しつつある、政府は豚の飼育普及に依りてこの

方面

の改善計畫を行はんとしてをり一九三〇年豚會社は肉飢餓よりの脱出は一年を出でずして消費されるとなし豚の飼育の積極的進出と有望なる將來のみ宣傳するに時日を消費せるに止まり老大なる樹立計畫豚の普及準備に何等の効果を齎すことなく市場には依然として鑵詰ハムの出現を見ず第一次五ヶ年計畫を徒らに經過して第二次五ヶ年計畫に入つた、然るにボリシエビキーは之を憂ふる所なく豚に代る養兎を以て成功せんとし且つ養兎は肉毛皮の一石二鳥的產業なりと唱へ遠からず全國民は毛皮の外套を用ふるに至るべしと養兎獎勵に大童となつてゐる、之に追從する新聞雜誌は寫眞入りの養兎記事を掲げコルホーズの養兎計畫を發表宣傳する等大いに力むる所あつたが飼育方法不完全なるため檻の中にあつて寒氣衰弱或ひは各種病源の爲斃死するもの多く本計畫は遂に何等の得る所なく終り肉は益々不足を告げたのである

北滿

備荒儲蓄に資し 義倉制度の確立
本年度特產物收穫期を控へ 濱江省國策に邁進

【ハルビン支局發】備荒儲蓄の見地から中央政府においては各省縣下における義倉制度の整備充實に鋭意努力してゐるが、濱江省においても今年の特產物收穫期を期して右中央政府の方針を體し既設義倉の再整備、未設縣には今年度內に可及的速かに義倉を設置する等北滿農民の救濟と災害突發を未然に防止するため努力することとなつた。右計畫に要する經費は、倉庫新築費として四萬二千百圓、縣有倉庫修理費として一萬百圓合計五萬二千二百圓は全部國庫補助によるもので、省民政廳を經て各縣に配給されることになつてゐる。今回の義倉制度普及について注目さるることは

一、散放
二、貸出
三、平糶

の三項を併せ行ふことであつてその運用如何については相當期待が持たれてゐる、即ち散放は飢饉などに際して無料で施米を行ふものであり、貸出については難民に對しては保長、甲長などの證明があれば、本人の生活狀態に應じて縣長の權限により貸出を行ふものである。更に平糶の運用は、特產物價が極度に値下りなどした場合は、市價調節のために之を買上げ、又は市價が騰貴した際には、ある程度まで引下げるため義倉貯蓄のものを市場に出すなど特產物の市價調節のための妙味を發揮せんとするものである。而して今回の貯蓄方法としては農民は一戸當り一畝八合以內の釀出をなすと規定され一般商民に對しては戸別捐徵收の際、納稅者の資產狀態に應じて貨幣をもつて義倉費として納入さるべきものとされてゐる。

日常必需品の…… 小賣市場建築
市營で、値段も安くなる

【ハルビン支局發】哈爾濱特別市公署實業科では先に道裡南、北兩小賣市場の改善統一化を圖り着々効果を納めてゐるが今回更に新市街馬家溝、居住者の要所として新市街義州街ギガント映畵館横、空地に食糧品、其の他日常必需品の市營小賣市場を建築すべく計畫中であるが、面積一千五百平方米、煉瓦建店舗數二十五、六を收容する豫定で總建築費四萬圓である、是によつて從來わざ／＼道裡市場に買出しに來てゐた新市街方面の居住者に多大なる便利を與へ且つ道裡よりも四分、乃至五分方高かつた食料品の値段も自然に統制されるものと期待されてゐる

歐亞連絡の ソ聯超特急 時速たつた三五キロ

【滿洲里國通】歐亞連絡の幹線の一大部分を占めるソヴエット鐵道は滿洲里を發して十日間やつとポーランドとの國境ネゴレロエに到着す、此の間を走る急行列車の速力が、なんと時速三五キロと云ふ漫々的でありしかも常に延着勝ちで三、四時間の延着は尋常茶飯事とされて居るがこれから嚴寒期に入るとこの遲延狀態は益々ひどくなるのが例である、全ソ聯中で一番快速力の列車がこの歐亞連絡急行列車だと云ふのだから他のローカル列車の運轉狀況に至つては推して知るべきである、日本のツバメや滿洲のあじあを見せてやり度い樣な氣がする

西尾參謀長 國境方面視察

【ハイラル國通】四日朝列車で着海した西尾參謀長は直に飛行機で三河に向ひ滿蒙國境方面を視察五日歸海したがホロンバイル地方を視察の上歸任する豫定

杉頭奉志團の 砂金開發工作の近況
その孜々たる努力に記す!

『アメリカの經濟はアラスカより』『日滿經濟は北滿砂金開發に有り』この言葉の如く黑龍江を瞬りしてゼーヤの流れを受けた砂金地帶無數有り此の眠れる天然資源の寶庫開發を持つて經濟救國の實を上げんと明治大帝の御教訓を守り滿洲採金會社の

生れ

ざる前に經濟救國の狼烟を滿洲最北端に上げた杉頭奉志團は此處に滿四ヶ年の艱難苦闘をつゞけ今日に至りようやく開發の緒に付く事を得た、机上の空論を問はず偉人、學者は居れど、直に血と熱と涙を持つて實行を第一義として躍進の闘士吾等の門脇常務有りて經濟立國が初めて實現せるものと思はる。後藤伯の偉業は滿洲に殘れり。容貌手腕實行の人後藤伯の再現かと思はしむる門脇壯介氏によつて經濟救國の實現化なり進軍の都度神秘有り、奇蹟生じつゝ今日に至る、小日山直登氏を社長に門脇壯介氏を專務に頂ける北滿金鑛の

洋々

たる將來を矚望するものあり。今年七月に入山せし山口縣人百三四十名中に前井砂金技師本多尚文技師あり第四鑛區たる吉興溝の如きは直徑四吋のボーリング中に七十二錢の價値有る金粒を地下十五、六尺の砂金帶より得た、ドレーヂ三台全部スダリヨーガと云ふ地點に陸上げ終了し、結氷を待ちそれぞ／＼現地へ運送する運びとなつてゐる、運送する機械にトラクター二台トラック四台をあて、來年の六月頃迄には全部組立も終了する事となり、近く三泉ドレーヂ會社より二三百名の組立技師及び職工がハイラルを

經由

して入山する筈である、小日山氏も去月二十六日哈市より飛行機により漠河に直航けだし民間人にて漠河飛翔したこともこれをもつて嚆矢とするものである
社長小日山直登氏現地視察終了後去月廿二日歸新、それより大連に向ひ松岡新滿鐵總裁に報告、大々的に開發工作進展する筈である

東滿

皇帝御下賜の恩賜藥 省下縣民に分配
宣撫小委員會、發送手續終る

【吉林國通】日滿軍警並に各機關の秋期大討伐、治安工作に協力、安居樂業の樂土建設に向つて一段の努力を捧げつゝある吉林省宣撫小委員會に於ては曩に皇帝陛下の畏き思召しにより警務廳に御下賜あらせられた恩賜藥の一部を特に讓り受けたので之を省下各縣民に分配拜授せしめ以て御皇恩に浴せしむることとなり五日中野委員長の名を以て各縣旗市宣撫小委員會に宛て發送の手續きをとつた、尙ほ同委員會に於ては更に宣撫用として中央當局より康德三年度時憲書三千五百部の送附を受けたのでこれ亦右と同樣別途發送するところあつた

在吉邦人數は 八一三六人
民會十月調査

【吉林支局發】當地居留民會の調査に係る十月末現在の在留邦人數は九千四十六人で九月末の八千百六十一人よりは四百八十五人を增したことになつて居るが、領警署の手による十月一日國勢調査の際に於ける在留邦人數が七千六百四十一人であつたことゝ、退去の場合に屆出でをせぬものが多數であることゝを考へば七千六百五十一人に十月中增加數四百八十五人を加へた八千百三十六人が實數に近いものゝ樣に思はれる

吉林邦人間の 滿語熱盛ん
近く研究科設置

【吉林支局發】當地在留邦人間に於ける滿洲語熱は日と共に高まり同又商業が小學校を借りて開講してゐる滿語講習會は一、二期とも滿員の形であるが、第二期を終へた程度の連中の間に研究科を新設して欲しいとの要望の聲が漸次に高まつて來たので、學校當局に於ても其熱意に動かされ研究科設置の實現を期して目下準備中である

此處にも朦朧自動車 京吉間を走る
首都、吉林兩警取締りに乘出す

【吉林國通】鐵路總局の經營する京吉バスは開設以來順調に發展の一途を辿り曩に四往復に增發、停留所を增設して地方交通開發に資す所多大なるものがあるが、最近本線路に對し法網を潜り不正を働く朦朧自動車が跳梁し、當局は營業に支障を來し、交通統制を攪亂する此種不正行爲の取締りに就き手を燒いてゐる始末であるが五日吉鐵では局長の名を以て首都警察廳並に吉林警察廳に對し之が檢擧嚴重取締方を要請するところあつた

南滿

"金がないから あとで來い" と、再三の呼び出し
貯金拂戻しに横暴なり!

【大連支社發】遞信局幹部はサービス改善を事毎に叫び、郵便事務の民衆への同化を大童になつて宣傳して居るが、親の心子知らずと言ふか市內に散在する小郵便局の對公衆取扱振りに就ては一向に改善の實が見えない、投函の郵便物の結束關係を尋ねてもはつきりした返事をして與れない局員が居る。
最近光風台郵便所の取扱振りに就て兎角の噂さがあるが、それは約十日程前貯金拂戻を受ける爲出向いた處がいま金がないから後で來いと言ふことだつた、その後も同人が出向いたとき矢張り金がないと再度出局を求められたと云ふのである
金額は僅か二十圓許りのものであつたが、元來一般公衆側の見る郵便預金なるものは主婦の財布と心得て小出しの預金をしてゐるのである、これをしも再三足を運ばせて後支拂を受くると云ふに至つては言語同斷と云ふべく、各種の郵便收入を俟つて支拂に充當するのは資金運用上より見れば妥當であるかも知れぬがプロ階級の零細なる預金の引出に再度斯る事のあるのは快速を云々されてゐる通信事務の一汚點であると非難されてゐる

古新聞を利用して 經濟的な燃料が出來る
難しいのはガスの使ひ方

家庭燃料の知識

家庭燃料には薪、木炭、ガス、コークス、石炭などの種類があるが、それぞれ特色をもつてゐるから、その特色を心得て使はねば結局燃料の不經濟となり、國家經濟上から見ても大損失をまねくことになる、それでこれらの家庭燃料についてその要求を少しばかりお話しよう。

近來ガスが著しく普及したので、薪など使つてゐる舊式な所はないと思ふ人があるかも知れないが未だ薪は盛んに使はれてゐる、何しろ薪は火づきがよく無煙焔で燃え後に眞赤な炭火を殘すので焚つけには無くてならぬものであるからだ、併しかやうによい焚つけの薪も漸次その産額は減りつひに焚きつけを如何にすべきやの問題に逢着するかも知れない、そこで從來から古新聞紙の利用が唱えられてゐるもちろん

古新聞 紙のまゝではぼうッと燃えてなんにもならないが、これを四、五時間水につけ堅い物の上でバラバラ碎いて手で固め、紙の團子をつくつて十分乾かして置く、使用に際して石油の霧を少し吹きかけて燃やすと實によく燃え後に炭火に殘るから石炭とかコークスとか木炭を焚きつけるのに滿點で、皆さんにもお奬めしたいものである。次に木炭とガスだが木炭は火をつけると炭火になり、ガスは焔になるのだといふことをよく心得て置かねばならぬ、木炭が全部火になるには相當の時間がかかるから湯でも煮かすやうな時はガスがよい、然し

魚を燒 くやうな場合は木炭がよいことは勿論である、木炭の熱は大部分が赤熱面から出る輻射熱であるから、徐々に熱するのには最も都合がよい。之を煖房の場合に見ると天井がぎつちりと隙間がなければガス・ストーブも直ちに效めあらたかだが天井の隙間がなければガスの場合上昇氣流が盛んとなるためガス・ストーブを一室の一端に置いても部屋全部は容易に溫まらない、木炭の場合には熱は周圍の材料を通して漸次空氣を溫めるので割合換氣が起らず平均に溫まる。次にガスの煮物について注意したいことは第一鍋や釜の底の形が氣にくはない、日本の鍋や釜は底が

丸形で ある、之はガスの焔の最も強い部分即ち焔の尖端が丸底に沿つて外部に流れ去つて終ひ、鍋の周圍を強く熱するばかりで中心に效めがないそれで怎うしてもガスを用ひる時は徑の小さい平底のものが一番だ、次にコークスだがこれは何しろ石炭の蒸し燒きで、高溫度で出來るものだから火付が惡いので家庭ではあまり喜ばれてゐない。この點を改良すれば十分に家庭にも需要の道は拓ける譯である。次に石炭を使つて、一番問題になるのは煤煙であるが、之は日本特有の昔からある飯焚竈を石炭窖に應用すれば或程度迄煤煙を防ぐことが出來る

お料理獻立

鰯たまりやき —大根きうり甘酢添—

鰯もこういたしますと添へた甘酢の色どりも添ひまして一寸したお料理になります

【材料】五人前（鰯たまり燒）鰯十五尾、味噌大匙二分の一、砂糖茶匙二杯、酒三勺、醬油二勺、ゴマ油少々（大根きうり甘酢）大根二十匁、きうり一本、鹽茶匙一杯、砂糖大匙二分の一、酢二勺

鰯の身だけはがして摺り鉢に入れ味噌砂糖醬油酒を入れて摺りまぜてまとめフライパンにゴマ油を沸がした中で燒き、大根ときうりの甘酢を添へてすゝめます

ラヂオ

けふの番組
（M・T・C・Y 新京放送局）六日（水曜）

（朝）

六、〇〇 建國體操（滿語）
六、五〇 ラヂオ體操（東京）
七、一〇 入港船の御知らせ（大連）
七、一五 氣象通報
初等滿語講座 講師 秩父固太郎
七、四〇 初等日語講座（奉天）講師 近藤喜助
八、一〇 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 早晨演奏
九、二〇 料理獻立（奉天）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 家庭講座 育兒の知識（二）鈴木病院長 醫學博士 鈴木紀
一〇、二五 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、四〇 ニュース（東京引續き新京）
一二、〇〇 經濟市況（大連引續き新京）

（晝）

〇、二〇 晝の演藝
〇、四〇 建國體操（滿語）
一、〇〇 白天演藝（大連）
清唱 一、烏龍院 唱 李蘭雪 胡琴 穆祥禎 二、賣馬 南胡 王振泉
一、二〇 ニュース（滿語）

二、〇〇 經濟市況（大連）引續き 日用品値段（滿語）
二、二〇 成人講座 新國家的賢母與良妻的造成（滿語）萬國道德會滿洲總會 女講員 張成儒
二、四〇 下午演奏
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連引續き新京）
三、五〇 ニュース（鮮語）
四、三〇 ニュース 引續き 演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（大連）滿洲童話 金鵄勳章と盲馬 山田健二

（夜）

五、二〇 コドモの新聞
五、二五 氣象通報 番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 今晩の番組
六、二五 政府公報・官廳公示（滿語）
六、三〇 國民の時間（滿語）青年覺悟 國都建設局事務官 呂作新
七、〇〇 清元 其小唄夢廓（上）（東京）そのこうたゆめもよしはら 淨瑠璃 清元壽美太夫 同 同 初榮太夫 三味線 同 正壽郎
七、二五 お笑ひ課題（東京）銅像と語る 三遊亭圓歌
七、五五 映畫劇（京都）黄昏地藏 振津嵐峽・演出 片岡千惠藏・外
八、三〇 時報・ニュース 引續き ニュース（東京）
八、四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇 探陰山 公餘俱樂部票友
九、三〇 戲劇（大連）哭別寒窰 黎明國劇研究社々員
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）
一、講演「十月革命前後のロシヤ」キバルヂン
二、レコード
三、ニュース

清元有數の名曲 其小唄夢廓（權八）
▽午後七時東京より

淨瑠璃 清元壽美太夫
同 清元初太夫
三味線 清元正壽郎

【解說】文化十三年、江戸中村座の正月狂言「比翼蝶春曾我菊」の淨瑠璃の場面に書き卸されたのが「其小唄夢廓」で、作者は福森喜宇助、作曲者は初代延壽太夫の妻お悦、清元有數の名曲として今日流行してゐる、この曲の名題を「其小唄」といふのは權八が鈴ヶ森の刑場で磔に行はれる時、當時流行の小唄「八重梅」を美音で口ずさんだ、その小唄は

梅が咲けかし、いよ八重梅が、枝を、枝を手折るふりして、必ずござせと樣を招く、必ずごちせと樣を招く

夢になりとも浮世ぢやな、まれに逢ふ夜は語る間もなき、さんさ短夜や、よしなの思ひ、浮世ぢやな

とある、さうして、權八や小紫の死んだあとで、「九重梅」の替唄が流行した、それは鑑頭の註釋の欄に載せてある通りである、この替唄の「逢ひたさ見たさに飛び立つばかし……」をこの淨瑠璃に引用した、そこで「其小唄夢廓」といふ名題が出來たのである、この淨瑠璃は上下に分つて、權八が鈴ヶ森で磔にならうとするところへ小紫が廓を拔けて駈けつけて來て、別れの水盃をする、さうして隱し持つた懷刀で權八の繩目をきる、權八がハッと驚くと、それは夢であつた、こゝまでが上の卷で、一般にこれを「搭上」と稱してゐる

演藝放送新人募集 募集種目追加
締切延期・十一月十日に

廣く民間一般の隱れたる藝術家を世に送り出し、新京演藝界の啓發、延いては滿洲文化向上の一端に資すべく、本社では既報の如く、新京放送局新舍屋移轉を記念して「演藝放送新人募集」を企畫發表したが、果然この企畫は一般の讚勃たる要望に投じて、發表後旬日を出ずして應募者續々と踵を接するの盛況を呈するに至つた、こゝに本社はこの盛況に鑑み、且つは一般の切々たる熱望もあり、既報第一回募集締切十一月三日を十一月十日に延期すると共に、長唄、義太夫、小唄、浪花節、琵琶、漫談、漫才、聲色、七種の募集種目に新に俚謠、詩吟、尺八、端唄、流行小唄の五種目を加へて、劃期的この企てに更なる多彩絢爛の賑ひを期することになつた冀くば新人の誘掖擢頭がこの眞摯なる意圖の下に着々實現、意義ある華麗の實を結ばんことを待望するものである

第一回募集規程

一、申込希望者は職業人、非職業人を問はず年齢十六才以上の男女であること
一、希望者は希望種目を明細に記し出演希望書に履歷書（演藝に關する）を添へ「新京永樂町新京日日新聞社」宛御提出下さい
一、詮衡の日時場所は追つて本紙上に發表します
一、出演申込は必ず希望者自身に限ります、伴奏は希望者において取り決めること
一、合格者は新京放送局から放送を御依頼します
一、申込者氏名は發表せず、合格者氏名だけ發表します
一、詮衡委員氏名は詮衡當日發表します
一、募集種目は長唄、義太夫、小唄、浪花節、琵琶、漫談漫才、聲色、俚謠、詩吟、尺八、端唄、流行小唄の十二種でその他のものは第二回（來る十二月の豫定）に讓ります
一、第一回募集締切りは十一月十日です

主催 新京日日新聞社

興味深い！刀劍の話〔十六〕
井上刀劍店主・記

刀が驚くやうな値段になつたのは、歐洲戰亂以來滿洲事變勃發に始まり内地の田舍は申すに及はず、めつさりと刀が値上りして高値を唱へ出した爲めに、先づ素人が田家から買出しをし意想外な儲けをして之れに味をしめ

渡滿 の時は猫も杓も二三本位は持つて來るが何れも鈍刀が多く之等は要するに、何等刀に理解なくして高値に求め、滿洲に行きさへすれば、旅費位は儲かると云ふ寸法で口車に乘せられ値もなきものを持つて來ると云ふ始末、全く滿洲にゐる人は盲目位に思ふて居るのには閉口だ却つて實地に當つて切味を知つて居る處にそんな物を持つて來るなど大きな錯覺であらう。滿洲には仲々の目利きが居られる。土作物なら

彼方 でも此方でも賣行が容易であるから羽が生えて飛んで行くが、數寄者に依ては千金も何んでもない樣な有樣だと云ふ。

古刀として高いのは貞宗、一文字、備前、兼光長光、俗光西蓮、兼氏安綱左文字（左）、新刀としては虎徹 五字忠吉 明壽 國廣 助廣 薩摩刀正清、主馬首一平安代、越中守初代正俊、繁慶、井上眞改、仙台の國包、新々刀では水心子山淵浦祐鷹

先づ 犬慶、直胤等である、又例の名代の日本一として許されてゐる正宗は、若しあれば幾らでも買手があります。先づ十中八九迄無い事になつてゐます。若しも賣りにでも出れば大變な値でせうが、總じてこう言ふ物は實物拂底ですから致し方がありません。それから鍔の高價な事も驚く樣で、信家金家あたりのものが一枚で三百圓はするのである。兎に角劍、太刀の存在を忘却せぬ樣にせねばならぬ、益々愛劍の念を助長し武士道を

鼓舞 し日本の精華たる意義を徹底させる時機である。

放電

たとへば地元の放送があつて、次の内地からの中繼に移る場合である、地元の放送が豫定時間よりも早く濟んで時間が余る場合がある、長い時には十分位余る事がある、あんな時放送局として、その儘ほつたらかしておかずにレコードでも送つてくれたらどんなものであらうか、スヰツチを入れたまゝの待つ間は長い、レコードをケースに收めたまゝ、埃りをかぶせておく手はない、それ位のサービスをしてくれてもいゝ筈である（N生）

明治節奉祝劇

明治の御代と乃木將軍（三）

糸井光彌編作

……暗轉……

（砲彈の音…小銃の音しきり）

（やがて近くに大きく炸裂する彈丸の音）

中央に電氣つくと塹壕の上に立つ乃木兒玉兩將軍逆光線にてさながら銅像の如く見える。

將軍『誰か？

兒玉『貴公乃木ぢやないか

將軍『兒玉か　確かこの塹壕に入つたと思うた

兒玉『夜中司令官には輕々しい振舞ぢやないか

將軍『貴公こそ　何んの爲めに遼陽軍を棄てゝ出張したのか

兒玉『先づ聞こう　何の爲に今夜こゝに立つか

將軍『いや貴公に問ふこの塹壕視察を第一眼目としたか

兒玉『何？

將軍『何？

（互ひに睨み合ふ如く暫く無言）

兒玉『（やゝうるめる聲にて）乃木！手を貸せ（將軍の手をしつかり握り）兵隊はよく死んで吳れるのう

將軍『うむ見て吳れたか……（沈痛に云ふ）晝間見い……この山道を上つて……皆死地についてくれるのだ……

兒玉『塹壕の內は　足を踏み立てるところもないぞ貴公ぢやからよく…忍耐し得たのぢやらう　御苦心察しるぞ

將軍『遠來の客ぢや　わしら折れて云はう　第三軍司令官は、今宵こゝに君を出迎へに來てゐるのだ（靜かに手をはなす）

兒玉『それは恐縮する……が（嚴かに）總參謀長としてのおれを出迎ふるに何か御馳走の用意があるか、耳を悅ばす饗應の準備があるか

將軍『些か珍饌を設けて貴客の到來を待つてゐたつもりぢや

兒玉『そりや有難い、先づ聞こう御馳走は？

將軍『もう一倍部下の士卒を殺してお目にかけませう

兒玉『（進み出て悅ばしげに）と云ふと…と云ふと？

將軍『この二百三高地ぢや、例へ幾千の犧牲を拂ふとも一擧猛襲してこの高地占領のために全軍の勢力を集中したいと考へてゐる……

兒玉……この饗應をうけても貴公不足と思ふか

兒玉『（思はずハラハラと淚を流して）期せずして一致した…おれもそれを考へて司令部も訪はず直ちに塹壕に飛び込んだのは人を驚かしたい爲めではない自分の考への適不適を實地の視察によつて確かめたかつたのだ決して貴公を侮つたのぢやない

將軍『貴公の至誠は知つてゐる、たゞその爲に貴公が自分の身を無茶をせんかと思ふて心配した

兒玉『全く砲台を出發する時は生きて歸る氣はなかつた……然し安心した、貴公も二百三高地占領の重要性を認めて吳ればわしの意見は完全に裏書されたものぢや

將軍『兒玉！今更ら繰言めくが、この戰爭で經驗した最大の苦痛は要塞戰にけ敵の屍を見られないと云ふ事だ見る死骸もみな我方の死骸だ敵軍の損傷も損害も全く見る事が出來ないで、味方の損害慘敗のみを見なければならない、恐らく戰爭のうちで、要塞戰ほど慘酷に無殘なものは無い

兒玉『深くその點は同情してゐる

將軍『おれが二百三高地に全力をそゝぐ考を起したのは、おれ自身旅順要塞の中を見度いのだ…將校士卒等にも一目見せたい見せて死なし度いのだ…二萬の士卒將校は旅順の內部を見ん事を熟望しながら、みな前方を睨んで、砲台の外壁外に倒れてゐるのだ…旅順港內を俯瞰する地點は唯一つ二百三高地の外はない…おれは旅順を見度い、士卒にも見せてやりたい、おれの現在には希望も熱望もこの一事より外にはないのだ

兒玉『もし過去の策戰に誤りがあつたとすれば、それは今日迄何人も二百三高地の重要性を心付かなかつた點ぢやらう吾々は山崎合戰の天王山の格でやはり高い黃金山ばかりを目標としてゐた（カラカラと笑つて）戰爭はやはり活物だ、いろいろに失敗した後に初めて本街道に出るんぢやよハッハ…

將軍『兒玉手を貸せ

兒玉『おい

（兩將軍固く握手して）

乃木『二百三高地だぞ

兒玉『二百三高地だ

………（暗轉）

滿洲と日本との歴史的關係（四）

岩間德也

夫れは何故かと申しますと、其の以前に遼東の倭寇は前に申し上げた通り多く朝鮮を經て參りまして、朝鮮に倭寇の襲來を受けますと其の後にはきつと遼東にも襲つて來たのであります。其處で文祿の役も一の倭寇と思つて居りますところの遼東の住民は、此の文祿の役は今迄に無いところの大優勢の倭寇で、明の援軍の李如松等も碧蹄館の戰で散々な敗北を致した位でありますから、此の樣な恐ろしい倭寇か今度は遼東を荒し廻るに相違ないと考へましてさなきだに倭寇には昔から兢々して居た遼東の住民は、之が爲に大變な脅威を感じたものでございます、其の證據には今現に金州城內の孔子廟に明の萬曆三十五年即ち文祿の役後九年に建立されました金州衞儒學重修碑の內に斯ふ云ふ文句がございます。

「今の遼陽何ぞ多故なるや。倭奴與國を犯して國家の錢穀を靡すること數百萬、碧蹄雲蹤くして鴨綠波騰く僅々甲を束ね劍を鳴らして去る。而て高勾麗の元氣已に羸に耗して支ふる能はず、此れ隣に震するなる。大將軍旌旆を建てゝ塞を出て鼓聲起らず。全軍覆沒し屋瓦皆振ひ　々として累卵危し此れ躬に震するなり」言々と云ふのであります

之は文祿の役に就て申したことでございますが、此の文章の後に遼東各地を荒し廻つた倭寇に關するものと思はれる文句もございますが長くなりますから省略致します。要するに朝鮮の役に於て遼東の住民を戰々兢々として累卵の危きを感ぜしめたことは之に依つて明であります。其のことは此の碑ばかりでなく、滿鐵沿線の蓋平城から南の方二十支里の塔子溝と云ふ所に山寺がございまして接代碑と云ふ一の碑像がございます、其の碑の側面に倭寇相侵すに因り碑一座を立て云々と云ふ文句が刻してございます之は萬曆二十一年六月即ち李如松が碧蹄館で大敗致しました年の而も其の後五ヶ月目に建てられました碑でございまして其の寺の住持が交代の際自分一代倭寇の憂ひが無い樣にと自分で佛像を刻しまして其のことを祈つたものでございます。如何に倭寇即ち文祿の役が遼東の住民を脅威したかを物語るものでございます。之を見ましても我帝國の威力が遼東即ち滿洲の野に耀いたのは必ずしも日清、日露の兩戰役に始つたものでないと云ふことが知られることでございます。

以上は元明時代の史實に就きまして申上たのでございますが清朝時代になりましては申す迄も無く日清、日露の兩役が最も重大な事項でありますけれども、此の兩役の戰事戰蹟に就きましては世界一般に知られて居ることでございますから、今更ら私から申上げる必要は無いかと存じますが只日清戰爭中、身は軍人出身でもなく謂ば一介の處士に過ぎないのに敵情偵察の特別任務を帶びて深く敵地に入り、遂に捕へられて國難に殉じ、今に金州城外に三崎山に殉節三烈士として一基の碑に在住邦人の崇敬を受けて居ります

爆擊機

「バルザック的な」といふ批評

窪川稻子が「帝國大學新聞」に村山知義の「わが白痴」を評して「バルザック的な」といふ一文を書いてゐるのを讀み再び書きたくなつた。やはり、私の批評の味方はあつたのだ。窪川の文章を引用しよう。

『「わが白痴」を讀みつゝ私は二三度バルザックの「從兄ポンス」を思ひ出した。それは好い意味においてである……

『作者は藝術家を描かうとしてゐるのではなく、所謂世間的複雜な意味をこめていはれる「好人物」なるものを描かうとしてゐる

『作中の私と、作者とがごつちやになる危險がない

『主人公にしやべらせながら、そのしやべることの內に、作者は主人公の持つてゐる諷刺的なものを摘發してゐる……等々

むろん、窪川はこの作のマイナスをもあげてゐる。要するにぼくは、東朝の豆戰艦は末梢的批評にすぎたと思ふ。

（大內隆雄）

中篇小說

生活の花 12

川內堯　カット 池邊靑李

その晩、春夫は滿子を宿屋へ案內し、それからホールを二軒連れて步いた。滿子は國都會館（これは假りの名だが）にゐる某教師への紹介狀を貰つて來て居り、それで國都會館へ就職することに話はすぐきまり、その夜は客として踊つて廻つたのであつた。

大連のカフエの片隅で、着物を着た滿子と踊つたことはあつた。いまドレスを着けたこの二年半振りの女と踊つてゐると、春夫には色んな過ぎた日々のことが思ひ出されて來るのであつた。滿子は叢藥として勉强したため、たしかに踊りはうまくなつてゐたやうである。「やうである」といふのは、春夫といふ男が簡單なダンスをたのしむだけで近頃流行の複雜な技巧を入れた踊り方など好みもせず出來もしないのであつた、それで滿子の技術的成熟の程度を批判するだけの力はなかつたからである。

「新京のホールのお客さんたち、ずゐ分田舍じみてるぢやないの？」

小さな聲で滿子はさう言ふのであつた。

「そりや京都近郊や神戸あたりのホールとは違ふさ。おい滿洲のホールでは、アルコール分をやりながら踊るんだぜ。內地のテイー・パアティーの出來損ひみたいなホールとは違ふ！」

「さうだつたわね」

夜更けておでん屋へ寄つて御飯を喰べ、春夫は滿子をその宿屋に送り屆けて、自分のアパートに歸つた。

別に殊更らに變つた氣持も起らなかつた。たとへば踊りに行つたりして、幾らかの愉しさは味はへ、日々の生活のうへに喜びの色彩は加へられるであらうが、お互ひに結婚へとすゝむだけの心の構への出來てゐない二人であつてみれば、それは今もなほ曾つて春夫が警官のまへに昂言したやうに、それはあくまでもあのAMIEの關係にとどまるものであつたのだ。

尤も物語の眞實さを失はないためには、その後數日して春夫はひと晩、滿子の宿で泊つて來たことを書いて置かねばならない。そして、その交情すらがこれを形容して言ふなら、それは淡々として水の如きものであつたのである

滿子はその數日を宿屋にゐて、それから或るロシア人の家の二階一室を借り、ホールに通勤することゝなつた。

獨身で、外からホールへ通ふことはやかましかつたのだが、滿子はその伯母が新京にゐることにし得るといふ一種の便宜な方法があつたので、そんないはば小さな非合法的手段を講じ

「あたし、寄宿舍なんて嫌ひよ」といふ主張を通し得たのだつた（つゞく）

蒙藏研究　歐文圖書紹介

▲人跡未到の公道（旅行記　イーストン）▲ゴビの沙漠を越へて（旅行記　ヘディン）▲西藏の過去及び現在（一般紹介　ベル）▲熱河（都市　ヘディン）▲中央アジアに於ける昔のゼスイット派（旅行記　ロシア次に西藏（一般紹介　バイロン）▲最中央アジアへの足跡（旅行記　リッチ）▲西部トルキスタンの土地と人（土地・民族　コグ）▲嵐の地に於て（旅行記　トリンクラー）▲西部西藏の佛教徒と氷河（宗教　ダイネリ）▲灰色パミールに至る道（旅行記　ストロング）▲支蒙國境に於けるスポーツと科學（旅行記　ソワビー）▲西藏人（民族・社會　ベル）▲蒙古と西部支那（社會・經濟　カラミッシェフ）▲西藏に於ける神秘家と魔法使（宗教　ダヴイドニール）▲達賴喇嘛の國（宗教　トリンクラー）▲西藏に於ける僧院クムブン（宗教　フイルヒネル）▲マラリヤ・金及び阿片（醫學・產業　メルチエル）▲蒙古の隊商路（旅行記　トルトマン）▲內蒙古に於ける經濟の發展と展望（經濟　張印棠（英文））▲トルキスタンのデュアブ（地誌　リックマー）▲沙漠セセイの舊跡（一一二）（考古學　ステインン）▲リング・ゲザールの超人的生活（歷史・文藝　ダヴイドニール）▲中央アジアの博物學（博物　アンドリユース）

これは驚ろいた！
"有熱"兒が約三割
學童の體溫調査の結果 由々しい大事を發見

醫學界の謎

滿鐵新京保健所では市內各小學校に亘つて、兒童の體溫調査を行つたところ、これは意外！體溫三十七度以上に上る者三十%の多數に上り、本間學校醫を驚かしてゐる、右調査は二週間前から室町、西廣場、八島の三校で行はれ全部終るのは本年中の見込だが、一見何らの異常を認めない者が實際體溫計を當てゝ見ると三十七度を超えてゐる始末で、現在の醫學の常識では三十七度以上を以て有熱とし、微熱が日々つゞく時は肺結核の初期ともされてゐるが、それにしてはその人數は余りに多く、且つ外見健康兒にも見受けられる者が多いのでこの事實は要するに子供の場合には適用されないものか、それとも結核の潜伏期にあるか大きな謎とされ、今後の研究にまつことゝなつた

"通學區域も影響する 不思議な問題" ＝本間學校醫は語る＝

右について本間學校醫は語る

どうも不思議です、毎日月曜から土曜まで一週六日間のうち三日以上三十七度以上の熱がつゞいゐる者が三十%にも上るのだから驚くのほかありません、果して身體に異常あるかどうかは今後レントーゲン、ワベリクリン反應、赤血球沈降速度によつて研究して見ないと解りませんが、その結果如何によつて大變な問題ともなり、また吾々の常識を訂正せなければならなくなるわけで極めて注目すべきものがあらうと思はれますなほ現在までの調査によつて見ると學校の通學區域によつてもその程度を異にし八島校の如きは他に較べて一層甚だしい、何にしても吾々に取つての大きな宿題です

銃後第一線に咲く日本女性の意氣
四年間の奉仕酬ひられて 明治節・光榮の表彰

焼きつく様な夏の日も、石も鐵も氷りつく多の眞夜中にも小さな日の丸國旗をかざして傷病兵遺骨の送迎、內地凱旋、奥地討匪の勇士の茶菓接待に身命を賭してよく銃後の護りに努め兵隊婆さん、兵隊姐さんといはれてゐる市內中央通り富士屋旅館清水トラ(七九)婆さんと三笠町二丁目料亭曙抱藝妓千代丸こと松本シマ(二〇)さんの四年間に亘る奉仕の効酬ひられさる三日明治節の佳節をトして八島小學校講堂で開催された帝國在鄕軍人會創立二十五周年記念式の席上において新京聯合分會長から感謝狀及び記念品(黒色ショール一枚)を贈呈され名譽を施した清水兵隊婆さんは感激の涙に暮れ謙遜して語る

決して私たちは斯様なもつたいない記念品を戴くだけのことはしてゐないのですたゞ自分の子供は一人として兵隊になることも出來ず何一つ御上のためにもなつてゐないからせめてこの老後の體で兵隊さん達を慰めることが出來ることでしたらと思つて兵隊さんやお遺骨の送迎に出るだけです

◇…雪中の並樹植え(西四馬路所見)

馬車に積んで 鐵棒を盜む

最近新發屯方面の新築工事現場にて鐵棒が頻々として竊盗に罹るとの屆出により新京署では極力犯人捜査のところ四日午後三時頃警戒の署員が新發屯某建築現場にて擧動不審の支那人を發見嚴重取調べると本籍河北省生れ住所不定無職李喜仲(三二)同張在仁(三二)の兩名にて不詳建築現場より四回に亘り鐵棒を馬車一合物取し二百餘圓にて城內方面に賣却したことを自白した

樺甸縣東北方で 三百五十の敵匪を擊滅

【吉林國通】坂口討代隊の菅澤〇隊は森山參事官以下の樺縣警察隊〇〇名を併せ指揮して討匪工作中四日午前六時頃樺 東北方約十五里の三道漂河に於て輕機關銃二挺を有する周泰平、大仁義の合流匪約三百五十と遭遇、四時間に亘る激戰の後これに大打擊を與へて南方密林地帶に潰走せしめた、この激戰に於て縣警察署隊員二名重傷を負つたが敵遺棄死體四十二、鹵獲品小拳銃八挺、彈藥三百三十六發で匪賊一名を捕虜とし人質二名を奪還した

徳惠縣北方で 合流匪掃蕩

【吉林國通】徳惠縣方面討伐中の乃豪部隊〇〇名は四日午後二時頃徳惠縣六臺北方地區に於て四海、青山好の合流騎馬匪約四十名を攻擊し交戰三時間にして之を潰走せしめたが敵は死體九、死馬三、小銃五、彈藥百十餘發、馬廿四頭人質二名を遺棄逃走した

第一線部隊の 滿洲國慰問班
張總理指揮下に五日出發

治安確立の爲各地に駐屯する第一線部隊及其の他の各機關慰問のため張國務總理大臣自ら指揮の下に五ヶの慰問班を編成五日よりそれぞれ出發することになつた

△五日出發

吉林、延吉方面 張國務總理大臣、呂、松本秘書官、張總務廳秘書官、山田總務廳理事官

敦化、磐石方面 高橋實業部總務司長、長尾民政部警務司長、松岡交通部理事官、樽原實業部事務官

熱河省方面 大橋外交部次長、久米文敎部總務司長、松岡民政部司法科長

五常、一面坡、寧安方面 依田蒙政部次長、古田司法部總務司長、齊藤民政部事務官、木村司法部事務官

△十一日出發

東邊道方面 清水民政部總務司長、田中交通部文書科長、岡本民政部總務科長

△十四日出發

通遼、開魯方面 星野財政部總務司長、藤原人事處長、關口蒙政部總務司長、田村財政部國税科長

大橋外交部次長 皇軍慰問へ

大橋外交部次長は熱河一圓に駐屯する皇軍並に滿洲國軍慰問のため昨朝八時飛行機にて中村屬官帶同錦州に向つた九日歸任の筈である

憲兵教習生 刑事々務を聽講

南嶺憲兵教習所では來る十日卒業を前に新京署其他の實務を見學してゐるが五日午前十時より新京署司法係岩田刑事を聘して一時間に亘り司法刑事々務の講義を聞いた

京都旅館主 長男入營

市內永樂町三丁目京都旅館主タネさん長男菅沼一夫君は來月一日京都伏見歩兵第九聯隊に入營、來る十八日ごろ出發の豫定

行商人等の生業に 貧民救濟資金貸與
一人宛四、五十圓を無利息で 特別市の新試み

韓市長の提案に依り、今回新京特別市公署に於ては貧民救濟の目的を以て、左の要領に基き行商人等に小資金を貸與することとなつた

▲金額 一人當り四、五十圓程度

▲期間 百日間(期間內に分割返濟せしむ)

▲利息 全く徵せず

右は隣保委員會の手を經て、貸與するもので保證人二名(內一名は隣保委員なるを要す)を要するの外別段の手數を要せず、極めて容易に併も全く無利息にて資金を融通之れに依り職なき者に一定職を與へ、貧民救濟の一助とせんとするものでその成果に就ては注目されてゐる

特別市主催 實業懇談會

新京特別市の實業懇談會十一月定期例會は本日午後三時より開催左記の件に就き懇談する

▲商工業振興策並に家屋建築の件(市商務會提案)▲新京城內電氣供給費減額の件(同上)▲本市糧業不振の原因に關する件(老天合提案)▲實業發展策に關する件(會通達提案)▲新制度量衡普及の件(市公署提案)▲同業委員會設置の件(同上)▲政府又は市公署に實業家として希望事項提出方懇願の件(同上)▲日滿實務修學懇旅協會設置の件(同上)

スケートを賣つて 防空献金へ
室町校の島田倘文君

室町小學校生徒島田倘文君は昨年のスケートが小さくなつたのでこれを屑屋に賣つたら金二圓になつたので早速この金を防空献金として地方事務所へ五日午後持參した

日本精神の現はれ 古澤警佐の義俠
被拉致卅余名の生命を救ふ

既報、東科中旗古澤警佐一行の警備電話架設班が五湖、月山匪に

拉致

された事件は十一月一日吉松部隊並に滿洲國軍警の一週間に亘る努力の結果、古澤警佐の奪還によつて全員無事なるを得たが、此事件中端なくも古澤氏の天晴れ義俠が卅餘名の尊き人命を救つた因をつくつたといふ美談が判り關係方面を痛く感激させてゐる、即ち五湖、月山匪首は古澤氏一行を拉致するや「自分の部下が日本軍に捕へられて生死不明となつてゐるが、恐らく殺されたのであらう、だからお前達全部を殺す」と言ひ渡したに對し古澤警佐は

平然

たる態度を以て「それなら俺だけを殺せ、ほかの者を殺す理由はない、若し他の者を還へすならその代償として三萬圓やらう」と交渉すると匪賊は「五萬圓寄越したらお前の他は皆還してやる、云々」と此處に人質になつた古澤氏が人質返還の交渉を進めた結果古澤氏の有金三百圓を前金として他の者の放還に成功、古澤氏はいづれへか拉致されて行つたのであつた、斯く古澤氏の義俠によつて九死に一生を得た電話架設員並に警察隊員十二名は非常に感激して歸ると直ちに救援隊に參加し古澤氏救出に赴いたのであつた、而して十一月一日無事古澤氏を

奪還

した時「該匪團には尙朝鮮人一名が拉致されてゐる、自分だけ助けて貰ふに偲びぬ」とて其の救出方を申出るや曩きに古澤氏によつて放還された警察隊員は滿洲國軍 海山部隊と共に更に五十滿里を追及し遂に朝鮮人を奪還するを得た、斯く古澤氏が死地に居て尙右の措置を忘れなかつた事は日本精神を遺憾なく發揮したものとして稱讃されてゐる

東京城驛で 列車事故 乘客二名輕傷

【奉天國通】四日午後五時二十七分圖佳線東京城驛構內で下り貨物二九一列車が貨車三輛解放のため後退の折一輛脫線復舊作業中牡丹江發旅客二四八列車が蓄進し來り之れと衝突し機關車破損滿乘客二名輕傷を負つた、現場は線路破損のため徒歩で連絡目下復舊作業中である

商業團体聯合會 十一日臨時總會

滿洲日滿商業團體聯合會では各地の代表者を招集して來る十一日午前九時より新京商工會議所に於て臨時總會を開催するが、故岡田小太郎氏の後任會長選擧を行ひ續いて今夏催された全滿聯合大會出し決算承認其他の重要案が當然提出協議される筈。尙新會長には位置及び連絡の關係上現新京商店協會長四戸友太郎氏が最も有望視されてゐる

哈爾濱鐵路局の 第二次人員整理
滿露人千六百名の大淘汰斷行

【ハルビン國通】ハルビン鐵路局では去る八月卅一日附を以て滿露從業員中老朽者並に勞働能力三分の二以上喪失した者千四十四名に對し第一次整理を行つたが更に、今回滿露人千六百餘名に對し第二次大整理を斷行する事となり去る十月卅一日附を以て滿人六百餘名に對して內命を發し殘り一千名に對しても近日中に發令を見る筈である而して第一次整理從業員に對しては去る十月廿六日より夫々退職金の支拂を開始したがこの總額は三百十八萬餘圓に上り一職工の身で三萬圓を受取る者もあり此の所意外な退職金にほくほくしてゐる始末で格別動搖の色を見せてゐない尙第二整理從業員の退職金支給額も三百萬圓を突破するものと見られるが來月上旬頃より夫々支拂ひを開始する筈である

日本海軍防備隊の 最初の犧牲者
萩山一等兵遺骨淋しく凱旋

【ハルビン國通】日本海軍防備隊最初の尊き犧牲となつた萩山一等水兵の遺骨は昨五日午前九時四十分發列車で內地へ凱旋したが驛頭には防備隊攻防艦隊員を初め日滿官民約五百名の盛大な見送りがあつた

明水縣刄傷巡査 起訴さる

【ハルビン國通】先般拔劍刄傷事件を惹起しハルビン領警で强制處分に付せられてゐた明水縣日系指導官佐々木源吾は極力犯行を否認してゐたが四日に至り遂に犯行を認めたので同日午後檢事は起訴手續きを執つた

馬車の忘れ物

首都乘用馬車人力車組合事務所取扱ひ馬車內の忘れ物左の如し

十月三十日風呂敷包一個(見積書雜書綴在中)大經路警察署保管、卅一日南嶺レコード八枚、同十一月一日新京驛前シャツ一枚、ズボン一枚、同一日南新京滿洲語讀本四冊、セルロイド若干、同一日風呂敷包一個(藥箱三ヶ在中)同

小川前市長に 感謝狀並に 慰勞金贈呈

【大連國通】大連市會では四日午後二時から市協議會を開き協議の結果小川前市長に對し左の感謝狀に添へて退職慰勞金五萬圓を贈呈することとなつた

感謝狀

貴下昭和六年十月市民の厚望を擔ひ大連市長に選任せられるや滿洲事變勃發後の重大なる時局に善處し市政の發展に順應して鋭意各般の施設整備に資し、市民の福祉增進に努めらる、其の功績誠に顯著なるものあり今や任滿ち退職せられるに當り其の勞を多とし茲に市會の議決を經て深く感謝の意を表す

第廿回清酒 品評會 入賞者發表

【大連支社發】大連民政署に於ける第二十回清酒品評會の結果十一月二日左記の通入賞發表された

△優等賞

金盃松鶴 原田商會

月ヶ瀬 森川清

神代 神田小太郎

△一等賞

志摩泉 志摩釀造合資會社

晃陽 滿洲酒造合資會社

姫鶴 西本勝衞

△二等賞

アカシア

正宗 北川酒造合資會社

高千穗 村上酒造合資會社

金正 廣垣治助

△名譽賞

金盃松鶴 原田商會

尙名譽賞は連續三ヶ年優等賞を受領して居るものである

宮川清五郎氏 電々參事に

【大連支社發】元大連新聞社の宮川靖五郎氏は今般滿洲電信電話會社副參事として總務部人事課に勤務することになつた。

新京美術協會の 創立記念展
愈よ八日より・公會堂で

寂しい新京の美術界を飾る美しい收穫——在京美術家を以つてなる新京美術協會創立記念展覽會は愈よ來る八日より三日間、記念公會堂二階會議室において蓋を開けることになつた、出品作品は全部で百餘點の多數に達し、日本畫十點、洋畫六十點の他に彫刻、版畫、工藝等約二十餘點、何れも同協會會員四十餘名の精進に成る佳作揃ひである、創立第一回記念展として精彩あらしむべく會員一同張り切つて準備に忙殺されてゐるが、地元唯一最初の催しとして美術愛好家連の注目を惹いてゐる

寄附

新京驛小荷物係龜井一氏は父淸一氏の忌明けに金一封を防空獻金した

伊藤青年校教諭 着任挨拶

新京青年學校敎諭に着任した伊藤龍太郎氏は五日挨拶に本社へ來訪

電々會社幹部 本社へ來訪

電々會社總裁山內靜夫氏以下幹部は才津總務課長の案內で五日同社新京移轉來駐挨拶に本社へ來訪

愛よ戰ひとれ

（舞臺上演・映畫化）

福田正夫
泉武久 畫

（七十二）

嫦娥（八）

「勝さん！」

渡邊が悲しさうに叫んだ。

「え！」

「ぼ、僕は君の本質を、し、知らなかつたんだ。……許してくれ！」

「まあ！」

「金井君には僕からいふ」

「はい！」

「君は、君は紅い真珠だ！」

勝美は目をしばたゝいた。

「勝さんにも、ぼ、僕が、わ、わるかつたと、よく、よく、あやまつてくれ給へ」

「はい」

二人はすぐ出て行つた。——渡邊は苦しさうに頭をかゝへてうなだれると、瞼をふるはせて泣いた。

「僕は、僕は、二つの珠を一しよに失つてしまつた……」

勝子が、肩をかゝへて勝美をつれ出した時、門前には、三四十分といつて待たしておいた自動車がまだ止まつてゐた。

女中があわてゝ送りに出た。

「渡邊さまは、殘つてゐらつしやいますから……」

「は、またどうぞ」

「自動車はこちらで拂ひますわよ」

「はい」

勝美はやつと車の中に這入るとよろめくやうにクッションに凭れて、兩手で顔をかくしてしまつた

「お近いうちに……」

扉をきいて車は辷り出した。

「と、東京へこのまゝ！」

勝美がやつとさゝやいた。

「はい！」

勝子は運轉手にそれをたのんで受けて貰つてから、そつと勝美をのぞいた。

「お氣持が惡くはありませんか？」

「いゝの！」

勝美は啜いて泣き出した。

「口惜しいわ、口惜しいわ、私、……あゝ、あんな恥しい目に逢つて！」

「いゝえ、いゝえ」

勝子がいつた。

「忘れちまへばなんでもありませんわ。勝美さまは、御自分で御自分を守られたのですわ」

「お前！」

勝美がぢつと勝子をみつめた。

「こんなことを……人に、い、いひはしまいね」

「まあ、決して！」

「きつとよ」

「はい」

「ケースから、コムパクト出して！」

「は！」

勝美は唇をかみしめて、顔をなほしたり、服をきちんとしたりしてから、忘れたやうに笑つた。

「ふゝ、私つよかつたわね」

「はい」

「でもね」

彼女はいつた。

「お前にも心配かけたから、お前を助けたことを帳消しにするわ」

「でも、御恩は御恩ですわ」

「いや！……私は、お前に恩を受けてるのが、いやなのよ。わかるわね、よくつて？」

「は、はい！」

「きつとよ」

勝美は念をおした。——彼女はすぐ疲れ切つたやうに、うとうとしはじめたが、勝子はうなだれてしまふと、悲しさうに考へ込んでゐた。